



(題字 時澤 貢 学長)

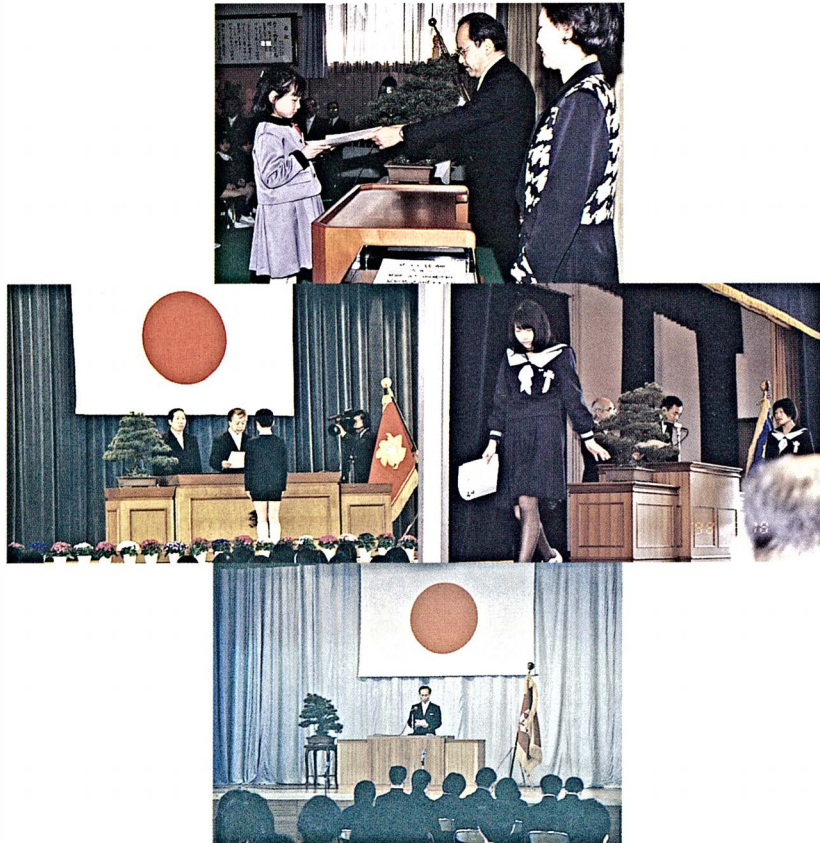
第399号
(平成10年 3月号)



▲ 平成9年度富山大学学位記授与式：平成10年3月25日（水）富山市芸術文化ホール
右上は学位記を授与される大学院人文科学研究科代表

目 次

学 長 告 辞		職 員 消 息	
◆ 平成9年度富山大学学位記授与式を挙行	3	◆ 住所変更	35
関 係 法 令	5	主 要 行 事	35
学 内 規 則	6	資 料	
諸 会 議	20	◆ 平成10年3月卒業生数	38
学 事		◆ 平成10年3月修了者数	39
◆ 学位取得者	22	◆ 平成9年度大学院研究科修了者一覧	40
◆ 平成10年度入学者選抜個別学力検査（後期日程） を実施	22		
人 事 異 動	24		
学 内 諸 報			
◆ 生涯学習教育研究センター長の改選	31		
◆ 退職者を囲む懇談会を開催	31		
◆ 総合情報処理センター建物竣工記念式典を 挙 行	32		
◆ 海外渡航者	33		



▲ 教育学部附属学校（園）卒業（修了）式風景
附属幼稚園（上），附属小学校（中左），附属中学校（中右），附属養護学校（下）

学 長 告 辞

3月25日富山市芸術文化ホールにおいて

平成9年度富山大学学位記授与式を盛大に挙

＝ 1,755人が社会に巣立つ ＝

平成9年度富山大学学位記授与式が、平成10年3月25日（水）午前11時30分から富山市芸術文化ホールで挙

行されました。式に先立ち本学フィルハーモニー管弦楽団によるオーケストラ演奏がありました。授与式では、まず時澤学長から各学部及び大学院研究科の代表者（学部卒業生1,479人、大学院修了生276人、合計1,755人）にそれぞれ学位記が授与され、続いて学長から告辞があり、学位記授与式を終了しました。



▲ 授与式場の卒業生



▲ 式終了後後輩たちの祝福を受ける

学位記授与式学長告辞（全文）



学長 時 澤 貢

本学所定の課程を終え、只今めでたく学士、修士、そして博士の学位を授与された、留学生50名を含めた総数1,755名の諸君、卒業おめでとうございます。教職員一同心からお慶び申し上げます。また、この日を心待ちにしておられましたご家族の方々のお慶びは、さぞかしと

推察いたします。

さて、顧みますと諸君が入学して以来、世界及び日本の社会情勢は著しく変化いたしました。連日の新聞紙上の見出しを4年前のそれと比べて、いかに日本の社会が変わり、問題や視点が異なるか驚異に値します。二十一世紀を間近にした日本経済は、欧米諸国へ追いつき、追い越せの段階から、バブル経済の崩壊や急激な円高などの後遺症で依然として停滞感から抜けきれない状況です。また、急速に進む人口の高齢化や規制緩和の遅れなどの構造問題は経済の動脈硬化をもたらし、基幹産業は国際競争の激化に息切れ状態にあると思われ

ます。ここで、日本経済を活力ある姿に変身できるのは、①移動体通信やデータ通信などの「高度情報化」②在宅医療・福祉などの「高齢化・医療整備」③リサイクルや低公害車両などの「環境」問題の克服であります。また、これ

らの産業の発展に欠かせないものとして、新技術の開発や新産業の創出、人口の高齢化及び環境問題の解決などが背景にあります。そして以上のような日本経済の改革カルテを遂行するためには、経済の持続的成長、エネルギー消費効率の向上、地球環境の保全、高齢化や国際化にふさわしい社会制度など解決すべき多くの課題を抱えています。

さて、大学はこれまで、学術や文化の向上は言うまでもなく、豊かで活力ある社会の形成に様々な寄与をしてきました。今後の流動的かつ不透明な時代においても、学術や文化の継承に努めるとともに、技術革新、国際化・情報化の進展、産業構造の変化等に適切に対処し、社会の各方面で活躍し得る人材の養成に努めていかなるはなりません。

ここで、諸君が卒業後、新世紀を拓く職場づくりを進める人材イメージについて、昨今の課題が思い浮かびます。日本人は生来創意に弱い、工夫にはめっぽう強い民族であると言われていています。創意はハワイ「なぜ」の発想、工夫はハウ「いかに」です。

二十一世紀に向かって、社会は創意にたけた職場作りを諸君に期待しています。日本人には生まれながらにしてもつ、大切な素質があります。それは、協調性です。日

本は、欧米に遅れて出発しましたが、自動車や電機製品などの開発に強く、ついに世界二位の経済大国となりました。どうしてでしょうか。このような製品は、数万点にもものぼる部品が精度良く、互換性と調和を保持して組み立てて一つのものに出来上っていきます。ここに日本人一人一人の知恵の結集があり、一人一人の協調的な工夫を忘れてはいけません。

幸い、本学は人文・社会系と自然科学系を有する総合大学であります。本学で学んだ諸君はスポーツ、文化サークルを通じて、このような学問分野の垣根を払い協調性を具備されたことと思います。

新世紀を拓く日本として、これからの科学技術や企業経営、文化の向上においても大きな業績を示していくには、本日卒業される諸君のような有能で知的な労働力が、豊かな協調性、創造性を発揮し、国際人として、一人一人が志を高くもって組織と調和し、人に誇れる技能を身につけていく努力が大切であります。胸を張って進んで行って下さい。

最後になりましたが、どうぞくれぐれも健康に留意されることを祈念して諸君へのはなむけの言葉といたします。

関 係 法 令**(法 律)**

- 恩給法等の一部を改正する法律（8）（平10. 3. 27 官報号外第60号）
- 国立学校設置法の一部を改正する法律（15）（平10. 3. 31 官報号外特第5号）

(政 令)

- 文部省組織令の一部を改正する政令（49）（平10. 3. 25 官報号外第57号）
- 国家公務員共済組合法の年金の額の改定に関する政令の一部を改正する政令（52）（同上）
- 国立学校設置法施行令の一部を改正する政令（69）（平10. 3. 27 官報号外第60号）
- 恩給法等の一部を改正する法律附則第14条の2第1項の年金たる給付等を定める政令の一部を改正する政令（73）（同上）
- 日本育英会法施行令の一部を改正する政令（87）（同上）
- 国家公務員共済組合法施行令の一部を改正する政令（100）（平10. 3. 31 官報号外特第5号）

(省 令)

- 学校図書館司書教諭講習規程の一部を改正する省令（文部1）（平10. 3. 18 官報第2342号）
- 学校教育法施行規則の一部を改正する省令（同3）（平10. 3. 27 官報第2349号）
- 大学入学資格検定規程の一部を改正する省令（同4）（平10. 3. 27 官報号外第60号）
- 文部省定員規則の一部を改正する省令（同5）（平10. 3. 31 官報第2351号）
- 日本育英会の第1種学資金の返還を免除される職を置く研究所等の指定に関する省令の一部を改正する省令（同6）（同上）
- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令（同7）（平10. 3. 31 官報号外第64号）
- 国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する

る省令の一部を改正する省令（同8）（同上）

- 教育公務員特例法施行令第1条の規定に基づき大学院に置かれる研究科の長を定める省令の一部を改正する省令（同9）（同上）
 - 大学の設置等の認可の申請手続等に関する規則の一部を改正する省令（同10）（同上）
 - 大学設置基準の一部を改正する省令（同11）（同上）
 - 大学院設置基準の一部を改正する省令（同13）（同上）
- (規 則)**
- 人事院規則1-4（現行の法律、命令及び規則の廃止）の一部を改正する人事院規則（人事院1-4-16）（平10. 3. 19 官報第2343号）
 - 人事院規則9-8（初任給、昇格、昇給等の基準）の一部を改正する人事院規則（同9-8-34）（平10. 3. 25 官報第2347号）
 - 人事院規則17-0（管理職員等の範囲）の一部を改正する人事院規則（同17-0-49）（同上）
 - 公務の活性化のために民間の人材を採用する場合の特例（同1-24）（平10. 3. 26 官報第2348号）
- (告 示)**
- 科学研究費補助金取扱規程の一部を改正する件（文部35）（平10. 3. 19 官報第2343号）
 - 平成11年度科学研究費補助金（国際学術研究）による研究課題を公募する件（同40）（平10. 3. 27 官報第2349号）
 - 大学、短期大学、大学の学部、短期大学の学科、大学の学部の学科、大学の通信教育の開設及び大学院並びに大学院の研究科の設置を認可した件（同42）（平10. 3. 27 官報号外第60号）
 - 大学設置基準第25条第2項の規定に基づき、大学が履修させることができる授業について定める件（同46）（平10. 3. 31 官報号外第64号）
 - 大学の設置等の認可申請書その他の書類の様式及び提出部数を定める件の一部を改正する件（同47）（同上）

学 内 規 則

富山大学学則の一部改正

富山大学学則の改正理由

- 1 大学院理工学研究科（博士課程）の設置に伴い、所要の改正を行う。
- 2 人文学部及び工学部の入学定員の臨時増募を減ずるため、所要の改正を行う。

富山大学学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

平成10年3月27日

富山大学長 時 澤 貢

富山大学学則の一部を改正する学則

富山大学学則（昭和59年3月12日全部改正）の一部を次のように改正する。

第6条第2項中 「理学研究科」 を「理工学研究科」に
工学研究科」

改める。

別表第1を次のように改める。

別表第1

学 部	学 科 等	入学定員	柔軟定員	収容定員
人文学部	人 文 学 科	65人		260人
	国 際 文 化 学 科	50		200
	言 語 文 化 学 科	80		320
	計	195		780
教育学部	学校教育教員養成課程	150		600
	総 合 教 育 課 程	40		160
	計	190		760
経済学部	経 済 学 科			
	昼間主コース	155		620
	夜間主コース	20		80
	経 営 学 科			
	昼間主コース	120		480
	夜間主コース	20		80
経営法学部	経 営 法 学 科			
	昼間主コース	100		400
	夜間主コース	20		80
	計	435		1,740
理学部	数 学 学 科	52		208
	物 理 学 科	42		168

理 学 部	化 学 学 科	38		152
	生 物 学 学 科	38		152
	地 球 科 学 学 科	40		160
	生 物 圏 環 境 科 学 学 科	30		120
	(各 学 科 共 通)		10	10
	計	240	10	980
工 学 部	電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 学 科	93	5	382
	知 能 情 報 工 学 学 科	86		344
	機 械 知 能 シ ス テ ム 工 学 学 科	98	5	402
	物 質 生 命 シ ス テ ム 工 学 学 科	155		620
	計	432	10	1,748
合 計		1,492	20	6,008

備考 経済学部の「昼間主コース」とは、主として昼間に授業を行うコースを、「夜間主コース」とは、主として夜間に授業を行うコースをいう。

附 則

- 1 この学則は、平成10年4月1日から施行する。
- 2 富山大学学則の全部を改正する学則（昭和59年3月12日制定）の一部を次のように改正する。
附則第3項を次のように改める。
- 3 別表第1に規定する入学定員には、当分の間、次に定める定員を含むものとする。

学 部	学 科	定 員
理 学 部	数 学 学 科	2
	物 理 学 学 科	2
	化 学 学 科	3
	生 物 学 学 科	3
	計	10

工 学 部	電気電子システム工学科	3
	知能情報工学科	6
	機械知能システム工学科	8
	計	17
合 計		27

3 別表第1に定める収容定員は、平成10年度から平成12年度までは、次のとおりとする。

学 部	学 科 等	平成10年度	平成11年度	平成12年度
人文学部	人 文 学 科	275人	270人	265人
	国 際 文 化 学 科	180	190	200
	言 語 文 化 学 科	335	330	325
	計	790	790	790
教育学部	学校教育教員養成課程	300	450	600
	総合教育課程	80	120	160
	計	380	570	760
経済学部	経 済 学 科			
	昼間主コース	620	620	620
	夜間主コース	80	80	80
	経 営 学 科			
	昼間主コース	480	480	480
	夜間主コース	80	80	80
	経 営 法 学 科			

	昼間主コース	400	400	400
	夜間主コース	80	80	80
	計	1,740	1,740	1,740
理 学 部	数 学 学 科	208	208	208
	物 理 学 科	168	168	168
	化 学 学 科	152	152	152
	生 物 学 科	152	152	152
	地 球 科 学 科	140	150	160
	生物圏環境科学科	120	120	120
	各学科共通(第3年次編入学分)	20	20	20
	計	960	970	980
工 学 部	電気電子システム工学科	189	287	385
	知能情報工学科	172	258	344
	機械知能システム工学科	199	302	405
	物質生命システム工学科	314	469	624
	計	874	1,316	1,748
合 計		4,744	5,386	6,028

4 平成10年3月31日における理学研究科及び工学研究科については、平成10年3月31日に当該研究科に在学する者が当該研究科に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

富山大学教育学部規則の一部改正

富山大学教育学部規則の改正理由

総合教育課程の授業科目を見直し、教育内容の充実を図るため、所要事項を改める。

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成10年3月20日

富山大学長 時 澤 貢

富山大学教育学部規則の一部を改正する規則

附 則

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

富山大学教育学部規則（昭和27年4月18日制定）の一部を次のように改正する。

別表Ⅵ 専攻科目 2 総合教育課程 ①情報教育、②環境教育及び③生涯スポーツの表を次のように改める。

2 総合教育課程

① 情報教育

授業科目名		開設単位	情報教育コース	
			必修	選択
課程科目 共通	教育情報科学概論	2	2	
	自然環境教育論	2	2	
	運動処方論	2	2	
	情報処理Ⅰ	2	2	
	情報処理演習Ⅰ	2	2	
	情報処理Ⅱ	2	2	
	情報処理演習Ⅱ	2	2	
	システム管理	2		2
	計算機概論	2	2	
	情報科学概論	2	2	
	システム設計	2		2
	知識工子 [※]	2		2
	ソフトウェア科学	2		2
	微分・積分学	2	2	
	線形代数学	2	2	
	確率・統計学	2		2
	情報数学	2		2
	計算科学	2		2
	教育メディア論	2		2
	授業システム論	2		2
	教育統計	2		2
	教育情報科学特別講義	2		2
	教材デザイン論	2		2
	インターフェースデザイン論	2		2
	情報教育論	2		2
	情報教育特別講義	2		2
	認知科学概論	2	2	
	認知科学演習	2		2
	認知科学特別講義	2		2
	生体情報システム論	2		2
	生体情報システム特別講義	2		2
	情報教育基礎ゼミナール	4	4	
	情報教育ゼミナール	4	4	
	[特設科目]			
	計	70	32	22
			54	
	特別研究		必修6単位	

② 環境教育

授業科目名		開設単位	環境教育コース	
			必修	選択
課程科目 共通	教育情報科学概論	2	2	
	自然環境教育論	2	2	
	運動処方論	2	2	
	ボランティア概論	2		2
	ボランティア活動	2		2
	科学技術史	2		2
	環境保護活動論	2		2
	自然環境教育法	2		2

自然環境野外実習	2		2
環境物理学総論	2	2	
環境物理学Ⅰ	2		2
環境物理学Ⅱ	2		2
環境物理学各論Ⅰ	2		2
環境物理学各論Ⅱ	2		2
環境物理学各論Ⅲ	2		2
環境物理学各論Ⅳ	2		2
環境物理学演習	2		2
環境物理学実験Ⅰ	2	2	
環境物理学実験Ⅱ	2		2
環境化学総論	2	2	
環境化学Ⅰ	2		2
環境化学Ⅱ	2		2
環境化学各論Ⅰ	2		2
環境化学各論Ⅱ	2		2
環境化学各論Ⅲ	2		2
環境化学各論Ⅳ	2		2
環境化学演習	2		2
環境化学実験Ⅰ	2	2	
環境化学実験Ⅱ	2		2
環境生物学総論	2	2	
環境生物学Ⅰ	2		2
環境生物学Ⅱ	2		2
環境生物学各論Ⅰ	2		2
環境生物学各論Ⅱ	2		2
環境生物学各論Ⅲ	2		2
環境生物学各論Ⅳ	2		2
環境生物学演習	2		2
環境生物学実験Ⅰ	2	2	
環境生物学実験Ⅱ	2		2
環境地学総論	2	2	
環境地学Ⅰ	2		2
環境地学Ⅱ	2		2
環境地学各論Ⅰ	2		2
環境地学各論Ⅱ	2		2
環境地学各論Ⅲ	2		2
環境地学各論Ⅳ	2		2
環境地学演習	2		2
環境地学実験Ⅰ	2	2	
環境地学実験Ⅱ	2		2
環境と法	2		2
環境と経済	2		2
地域環境論Ⅰ	2		2
地域環境論Ⅱ	2		2
地域環境論Ⅲ	2		2
地域環境論Ⅳ	2		2
生活環境論Ⅰ	2		2
生活環境論Ⅱ	2		2
環境情報デザインⅠ	2		2
環境情報デザインⅡ	2		2
情報処理	2		2
情報処理演習	2		2
教育統計	2		2
環境科学特論Ⅰ	2		2
環境科学特論Ⅱ	2		2
環境科学特論Ⅲ	2		2
環境教育特別講義	8		8

(特 設 科 目)			
計	138	22	32
		54	
特 別 研 究	必 修 6 単 位		

③ 生涯スポーツ

授 業 科 目 名	開 設 単 位	生涯スポーツコース		
		必 修	選 択	
課通 程科 共目	教育情報科学概論	2	2	
	自然環境教育論	2	2	
	運動処方論	2	2	
	生涯スポーツ論	2	2	
	余 暇 論	2		2
	スポーツ比較文化論	2	2	
	スポーツ経営論	2		2
	スポーツマーケティング論	2		2
	社会体育概論	2		2
	スポーツジャーナリズム論	2		2
	スポーツ生理学	2		2
	解剖学	2		2
	バイオメカニクス	2	2	
	スポーツ心理学	2		2
	スポーツと栄養	2		2
	スポーツ指導論	2		2
	体力診断の理論	2		2
	体力トレーニング論	2		2

野 外 活 動 論	2			2
ス ポ ー ツ 医 学	2			2
救 急 法	2			2
ス ポ ー ツ 関 係 法 規 論	2			2
ス ポ ー ツ カ ウ ン セ リ ン グ 論	2			2
生 涯 ス ポ ー ツ 特 別 講 義	10			10
運 動 処 方 演 習	4		2	2
体 力 ト レ ー ニ ン グ 演 習	4		2	2
ス ト レ ッ チ ン グ 演 習	4		2	2
テ ー ピ ン グ 演 習	4		2	2
野 外 活 動 演 習	4		2	2
ス ポ ー ツ マ ー ケ テ ィ ン グ 演 習	4		2	2
バ イ オ メ カ ニ ク ス 演 習	4		2	2
フ ィ ー ル ド ワ ー ク 演 習	4		2	2
ス キ ー	3	1	1	1
テ ニ ス	3	1	1	1
ゴ ル フ	3	1	1	1
エ ア ロ ビ ク ス	3	1	1	1
水 泳	3	1	1	1
野 外 活 動	3	1	1	1
施 設 実 習	10	5		5
[特 設 科 目]				
計	116	25	10	19
			54	
特 別 研 究	必 修 6 単 位			

富山大学大学院学則の一部改正

富山大学大学院学則の改正理由

大学院理工学研究科（博士課程）の設置に伴い、所要の改正を行う。

富山大学大学院学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

平成10年 3 月27日

富山大学長 時 澤 貢

富山大学大学院学則の一部を改正する学則

富山大学大学院学則（昭和53年 4 月 1 日制定）の一部を次のように改正する。

第 3 条中 「理学研究科
工学研究科」 を「理工学研究科」に改める。

第 4 条第 1 項中 「、経済学研究科及び理学研究科」を「及び経済学研究科」に改め、同条第 2 項及び第 3 項中

「工学研究科」を「理工学研究科」に改める。

第 6 条中

「理学研究科

数学専攻、物理学専攻、化学専攻、生物学専攻、地球科学専攻、生物圏環境科学専攻

工学研究科

博士前期課程

電子情報工学専攻、機械システム工学専攻、物質工学専攻、化学生物工学専攻

博士後期課程

システム生産工学専攻，物質生産工学専攻」を
「理工学研究科

博士前期課程

数学専攻，物理学専攻，化学専攻，生物学専攻，
地球科学専攻，生物圏環境科学専攻，電子情報
工学専攻，機械システム工学専攻，物質工学専
攻，化学生物工学専攻

博士後期課程

システム科学専攻，物質科学専攻，エネルギー
科学専攻，生命環境科学専攻」

に改める。

第48条を次のように改める。

(研究科長)

第48条 研究科に研究科長を置く。

2 研究科長(理工学研究科の研究科長を除く。)は，
基礎となる学部長の長をもって充てる。

3 理工学研究科の研究科長は，理学部長又は工学部長
をもって充てる。

別表第1を次のように改める。

別表第2を次のように改める。

附 則

1 この学則は，平成10年4月1日から施行する。

2 別表第1に定める収容定員は，平成10年度及び平成
11年度は，次のとおりとする。

研究科名	課程名	専攻等名	平成10年度	平成11年度
人文科学研究科	修士課程	文化構造研究専攻	10人	10人
		地域文化研究専攻	10	10
		計	20	20
教育学研究科	修士課程	学校教育専攻	12	12
		教科教育専攻	52	52
		計	64	64
経済学研究科	修士課程	地域・経済政策専攻	8	8
		企業経営専攻	8	8
		計	16	16
理工学研究科	博士前期課程	数学専攻	12	24
		物理学専攻	12	24
		化学専攻	10	20
		生物学専攻	10	20
		地球科学専攻	10	20
		生物圏環境科学専攻	10	20
		電子情報工学専攻	45	90
		機械システム工学専攻	30	60
		物質工学専攻	27	54
		化学生物工学専攻	24	48
	小計	190	380	
	博士後期課程	システム科学専攻	7	14
		物質科学専攻	7	14
		エネルギー科学専攻	5	10
生命環境科学専攻		5	10	
小計	24	48		

	計	214	428
合	計	314	528

3 平成10年3月31日における理学研究科及び工学研究
科については，平成10年3月31日に当該研究科に在学
する者が当該研究科に在学しなくなる日までの間，存
続するものとす。

別表第1

研究科名	課程名	専攻等名	入学定員	収容定員
人文科学研究科	修士課程	文化構造研究専攻	5人	10人
		地域文化研究専攻	5	10
		計	10	20
教育学研究科	修士課程	学校教育専攻	6	12
		教科教育専攻	26	52
		計	32	64
経済学研究科	修士課程	地域・経済政策専攻	4	8
		企業経営専攻	4	8
		計	8	16
理工学研究科	博士前期課程	数学専攻	12	24
		物理学専攻	12	24
		化学専攻	10	20
		生物学専攻	10	20
		地球科学専攻	10	20
		生物圏環境科学専攻	10	20
		電子情報工学専攻	45	90
		機械システム工学専攻	30	60
		物質工学専攻	27	54
		化学生物工学専攻	24	48
	小計	190	380	
	博士後期課程	システム科学専攻	7	21
		物質科学専攻	7	21
		エネルギー科学専攻	5	15
生命環境科学専攻		5	15	
小計	24	72		
合	計	264	552	

注：教育学研究科の入学定員内には外国人留学生として，
学校教育専攻に1人，教科教育専攻に2人を含むもの
とする。

別表第2

研究科名	専攻等名	免許状の種類	免許教科
人文科学研究科	文化構造研究専攻	中学校教諭専修免許状	社会
		高等学校教諭専修免許状	地理歴史
		高等学校教諭専修免許状	公民
	地域文化研究専攻	中学校教諭専修免許状	社会
		高等学校教諭専修免許状	地理歴史
		社会歴史コース	
	国語コース	中学校教諭専修免許状	国語
		高等学校教諭専修免許状	国語
	中国語コース	中学校教諭専修免許状	中国語
		高等学校教諭専修免許状	中国語
	英語コース	中学校教諭専修免許状	英語
		高等学校教諭専修免許状	英語
ドイツ語コース	中学校教諭専修免許状	ドイツ語	

教育学 研究科	学校教育専攻 学校教育専修	高等学校教諭専修免許状	ドイツ語	音楽教育専修	小学校教諭専修免許状	音楽 音楽
		小学校教諭専修免許状	国語		中学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	社会	美術教育専修	小学校教諭専修免許状	美術 美術
		中学校教諭専修免許状	数学		中学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	理科	保健体育専修	小学校教諭専修免許状	保健体育 保健体育
		中学校教諭専修免許状	音楽		中学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	美術	技術教育専修	小学校教諭専修免許状	技術
		中学校教諭専修免許状	保健体育		中学校教諭専修免許状	
		中学校教諭専修免許状	家庭	家政教育専修	小学校教諭専修免許状	家庭 家庭
		中学校教諭専修免許状	英語		中学校教諭専修免許状	
		高等学校教諭専修免許状	国語	地域・経済政策専攻	中学校教諭専修免許状	社会 地理歴史 公民
		高等学校教諭専修免許状	地理歴史		高等学校教諭専修免許状	
		高等学校教諭専修免許状	公民	企業経営専攻	高等学校教諭専修免許状	商業
		高等学校教諭専修免許状	数学		高等学校教諭専修免許状	
		高等学校教諭専修免許状	理科	理工学研究科	数学専攻	数学 数学
		高等学校教諭専修免許状	音楽		物理学専攻	
		高等学校教諭専修免許状	美術	化学専攻	中学校教諭専修免許状	理科 理科
		高等学校教諭専修免許状	書道		高等学校教諭専修免許状	
		高等学校教諭専修免許状	保健体育	生物学専攻	中学校教諭専修免許状	理科 理科
		高等学校教諭専修免許状	家庭		高等学校教諭専修免許状	
		高等学校教諭専修免許状	英語	地球科学専攻	中学校教諭専修免許状	理科 理科
		養護学校教諭専修免許状	国語		高等学校教諭専修免許状	
		幼稚園教諭専修免許状	地理歴史	生物圏環境科学専攻	中学校教諭専修免許状	理科 理科
		幼稚園教諭専修免許状	公民		高等学校教諭専修免許状	
		教科教育専攻	数学	電子情報工学専攻	高等学校教諭専修免許状	工業 工業
		国語教育専修	国語		機械システム工学専攻	
		国語教育専修	国語	物質工学専攻	高等学校教諭専修免許状	工業 工業
		国語教育専修	書道		化学生物工学専攻	
		数学教育専修	数学		高等学校教諭専修免許状	
		数学教育専修	数学			
		理科教育専修	理科			
		理科教育専修	理科			

富山大学学位規則の一部改正

富山大学学位規則の改正理由

大学院理工学研究科（博士課程）の設置に伴い、所要の改正を行う。

富山大学学位規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成10年 3 月27日

富山大学長 時 澤 貢

富山大学学位規則の一部を改正する規則

富山大学学位規則（昭和40年1月22日制定）の一部を次のように改正する。

第3条の2中

理学研究科	数 学 専 攻 物 理 学 専 攻 化 学 専 攻 生 物 学 専 攻 地 球 科 学 専 攻 生 物 圏 環 境 科 学 専 攻	理 学	—
工学研究科	電 子 情 報 工 学 専 攻 機 械 シ ス テ ム 工 学 専 攻 物 質 工 学 専 攻 化 学 生 物 工 学 専 攻	工 学	—
	シ ス テ ム 生 産 工 学 専 攻 物 質 生 産 工 学 専 攻	—	工 学

を

理工学研究科	数 学 専 攻 物 理 学 専 攻 化 学 専 攻 生 物 学 専 攻 地 球 科 学 専 攻 生 物 圏 環 境 科 学 専 攻	理 学	—
	電 子 情 報 工 学 専 攻 機 械 シ ス テ ム 工 学 専 攻 物 質 工 学 専 攻 化 学 生 物 工 学 専 攻	工 学	—
	シ ス テ ム 科 学 専 攻 物 質 科 学 専 攻 エ ネ ル ギ ー 科 学 専 攻 生 命 環 境 科 学 専 攻	—	理 学 は 工 学

に改める。

附 則

- 1 この規則は、平成10年4月1日から施行する。
- 2 平成9年度以前の入学者については、なお従前の例による。

富山大学大学院経済学研究科規則の一部改正

富山大学大学院経済学研究科規則の改正理由

授業科目を見直し、教育・研究内容の充実を図るため、所要事項を改める。

富山大学大学院経済学研究科規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成10年3月20日

富山大学長 時 澤 貢

富山大学大学院経済学研究科規則の一部を改正する規則

富山大学大学院経済学研究科規則（平成3年3月30日制定）の一部を次のように改正する。

別表地域・経済政策専攻理論経済学の項中

「○数理経済学演習 | 8」を

○数理経済学演習	8
経済理論特殊研究	2
経済理論演習	8

に改め、

同専攻比較経済論の項中

「 西欧経済史特殊研究
○西欧経済史演習」を

「 西洋経済史特殊研究
○西洋経済史演習」に改め、

企業経営専攻経営学の項中

「○財務会計論演習 | 8」を

○財務会計論演習	8
会計ディスクロージャー特殊研究	2
○会計ディスクロージャー演習	8

に改め、

同専攻応用経営の項中

「○国際経営論演習 | 8」を

○国際経営論演習	8
流通論特殊研究	2
○流通論演習	8
多国籍企業論特殊研究	2
○多国籍企業論演習	8

に改め、

2 入学資格が、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められて博士後期課程に入学した者については、前項に規定するもののほか、所要の授業科目の単位の修得を課すことがある。

(履修届)

第6条 学生は、指導教官の指導を受け、履修しようとする授業科目を定め、指定の期日までに研究科長に届け出なければならない。

(単位の認定)

第7条 履修した授業科目の単位修得の認定は、筆記試験若しくは口頭試験又は研究報告等により担当教官が行う。

2 前項の認定を行う時期は、学期末とする。ただし、特別の事情があるときはその時期を変えることができる。

(成績評価)

第8条 試験等に合格した授業科目の成績評価は、優、良及び可で表示する。

(学位論文の提出)

第9条 学生は、指導教官の承認を得て、学位論文を指定した期日までに研究科長に提出しなければならない。

2 学位論文は、課程修了に必要な単位を修得又は修得見込みで、かつ、必要な研究指導を受けた者でなければ提出することができない。

(学位論文の審査)

第10条 学位論文の審査については、富山大学学位規則(昭和40年1月22日制定)の定めるところによる。

(研究科長及び副研究科長)

第11条 研究科に、研究科長及び副研究科長を置く。

2 研究科長の選考等については、別に定める。

3 副研究科長は、研究科の基礎となる学部の長で、研究科長の所属する学部以外の学部の長をもって充てる。

(専攻主任、専攻長及び講座主任)

第12条 博士前期課程の各専攻に専攻主任を、博士後期課程の各専攻に専攻長、各専攻の各講座に講座主任を置き、教授のうちから選考する。

2 専攻主任及び専攻長は、当該専攻の教育及び研究に関し総括するほか、他専攻との連絡調整に当たる。

3 講座主任は、当該講座の教育及び研究に関し総括するほか、他講座との連絡調整に当たる。

4 専攻主任、専攻長及び講座主任の任期は1年とし、再任を妨げない。

(雑 則)

第13条 この規則に定めるもののほか、研究科に関し必要な事項は、研究科委員会が別に定める。

附 則

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

別表第1 (博士前期課程)

専 攻	授 業 科 目	単位数	備 考
数学専攻	代 数 学 特 論 I	2	○印は 必修科目
	代 数 学 特 論 II	2	
	幾 何 学 特 論 I	2	
	幾 何 学 特 論 II	2	
	多 様 体 特 論 I	2	
	多 様 体 特 論 II	2	
	関 数 解 析 学 特 論 I	2	
	関 数 解 析 学 特 論 II	2	
	複 素 解 析 学 特 論 I	2	
	複 素 解 析 学 特 論 II	2	
	実 解 析 学 特 論 I	2	
	実 解 析 学 特 論 II	2	
	確 率 過 程 特 論 I	2	
	確 率 過 程 特 論 II	2	
	確 率 現 象 特 論 I	2	
	確 率 現 象 特 論 II	2	

関 数 方 程 式 特 論 I	2	
関 数 方 程 式 特 論 II	2	
応 用 数 理 特 論 I	2	
応 用 数 理 特 論 II	2	
数 理 現 象 特 論 I	2	
数 理 現 象 特 論 II	2	
情 報 数 理 学 特 論 I	2	
情 報 数 理 学 特 論 II	2	
情 報 シ ス テ ム 特 論 I	2	
情 報 シ ス テ ム 特 論 II	2	
○数 学 特 論	2	
数 理 科 学 特 論 I	1	
数 理 科 学 特 論 II	1	
○ゼ ミ ナ ー ル	4	
○数 学 特 別 研 究	16	
凝 縮 系 物 理 学 I	2	○印は 必修科目
凝 縮 系 物 理 学 II	2	
磁 性 物 理 学	2	

物理学専攻	低温物理学	2	○印は 必修科目	生物学専攻	植物系統分類学特論	2	○印は 必修科目
	素粒子物理学Ⅰ	2			動物系統分類学特論	2	
	素粒子物理学Ⅱ	2			細胞生物学特論	2	
	場の量子論Ⅰ	2			細胞分化学特論	2	
	場の量子論Ⅱ	2			遺伝学特論	2	
	回折物理学	2			形態形成学特論	2	
	結晶物理学Ⅰ	2			動物生理学特論	2	
	結晶物理学Ⅱ	2			比較内分泌学特論	2	
	電波物理学	2			内分泌細胞学特論	2	
	電波分光学Ⅰ	2			生体制御学特論	2	
	電波分光学Ⅱ	2			生体機能調節学特論	2	
	量子エレクトロニクスⅠ	2			○生物学特論	2	
	量子エレクトロニクスⅡ	2			生物学特別講義Ⅰ	1	
	レーザー分光学	2			生物学特別講義Ⅱ	1	
	○現代物理学特論	2			○生物学特別実験	2	
	物理学特別講義Ⅰ	1			○ゼミナール	4	
	物理学特別講義Ⅱ	1			○生物学特別研究	14	
	○物理学特別実験	2					
	○ゼミナール	4					
	○物理学特別研究	14					
化学専攻	化学反応論	2	○印は 必修科目	地球科学専攻	地球磁気学	2	○印は 必修科目
	触媒化学	2			固体地球物理学	2	
	表面化学	2			地球構造学特論	2	
	物質化学	2			地震学特論 ^冊	2	
	構造化学	4			地球物性論	2	
	量子化学	2			物理探査学	2	
	固体化学	2			地球周辺物理学	2	
	有機反応論	2			地球圏物理学特論	2	
	有機構造論	4			雪氷学特論 ^冊	4	
	有機合成化学	2			積雪物理学 ^冊	4	
	天然物化学	4			雪氷環境論	4	
	複素環化学	4			層序学	2	
	核化学	2			火山地質学	2	
	固体物理化学	2			第四紀学特論	2	
	機能性材料学	2			岩石学特論Ⅰ	2	
	同位体化学	2			岩石学特論Ⅱ	2	
	○最先端化学特論	2			岩石変形論	2	
	反応物性特別講義	1			構造地質学	2	
	合成有機特別講義	1			地球変動論	2	
	水素エネルギー特別講義	1			鉱床学特論	2	
○化学特別実験	2	地球進化学	2				
○ゼミナール	4	地質学特論	2				
○化学特別研究	14	地質学巡検Ⅰ	3				
		地質学巡検Ⅱ	1				
		○地球科学特論	2				
		地球科学特別講義Ⅰ	2				

	地球科学特別講義Ⅱ	2			計算機アーキテクチャ特論	2		
	○地球科学特別実験	2			電磁波工学特論	2		
	○ゼミナール	4			知能化情報回路工学特論	2		
	○地球科学特別研究	14			プラズマ物理学特論	2		
生物圏環境 科学専攻	○環境化学特論	2	○印は 必修科目		プラズマシミュレーション特論	2		
	環境化学計測論	2			電気磁気学特論	2		
	環境微量成分分析特論	2			論理回路特論	2		
	環境無機反応論	2			情報処理特論第1	2		
	環境水質特論 [△]	2			情報処理特論第2	2		
	地球化学特論	2			情報処理特論第3	2		
	水圏化学特論	2			情報システム特論第1	2		
	環境同位体特論	2			情報システム特論第2	2		
	環境物質循環特論	2			数値解析特論第1	2		
	○環境生物特論	2			数値解析特論第2	2		
	生体物質循環特論	2			情報通信工学特論第1	2		
	生体応答特論	2			情報通信工学特論第2	2		
	環境動物生理学特論	2			知識情報工学特論第1	2		
	生物物理学特論	2			知識情報工学特論第2	2		
	植物生態学特論	2			電子情報工学特別講義	4以下		
	植生立地学特論	2			○電子情報工学特別演習	2		
	光生物学特論	2			○電子情報工学特別研究	10		
	環境植物生理学特論	2						
	生物圏環境科学特別講義Ⅰ	1						
	生物圏環境科学特別講義Ⅱ	1						
○生物圏環境科学特別実験	2							
○ゼミナール	4							
○生物圏環境科学特別研究	14							
電子情報 工学専攻	電気機器工学特論第1	2	○印は 必修科目	機械システム 工学専攻	弾性力学特論	2	○印は 必修科目	
	電気機器工学特論第2	2			塑性力学特論	2		
	パワーエレクトロニクス	2			強度設計工学特論	2		
	電力工学特論第1	2			要素設計工学特論	2		
	電力工学特論第2	2			流体力学特論	2		
	大電流工学特論	2			熱流体工学特論	2		
	制御工学特論	2			数値熱流体工学特論	2		
	生体工学特論	2			工業熱力学特論	2		
	計測工学特論	2			伝熱工学特論	2		
	量子電子工学特論	2			切削加工学特論	2		
	電子物性工学特論	2			微細加工学特論	2		
	固体電子装置特論	2			塑性加工学特論	2		
	画像電子装置特論	2			機械材料学特論	2		
	基礎物性工学特論第1	2			機械システム動力学特論	2		
	基礎物性工学特論第2	2			機械システム構成学特論	2		
	計算機基礎論特論	2			計算力学特論	2		
						制御工学特論		2
						制御機器特論		2
						計測システム特論		2
						精密測定システム特論		2
			機械情報システム特論	2				
			機械システム工学特別講義	4以下				

	○機械システム工学特別演習	2	
	○機械システム工学特別研究	10	
物質工学専攻	材料化学特論第1	2	○印は 必修科目
	材料化学特論第2	2	
	有機合成化学特論	2	
	有機反応化学特論	2	
	工業電気化学特論	2	
	無機工業化学特論	2	
	無機材料工学特論第1	2	
	無機材料工学特論第2	2	
	粉体工学特論	2	
	粉体プロセス工学特論	2	
	材料設計工学特論第1	2	
	材料設計工学特論第2	2	
	移動現象特論	2	
	材料製造シミュレーション特論	2	
	金属材料強度学特論	2	
	材料組織制御学特論	2	
	磁性材料学特論	2	
	極低温材料物性学特論	2	
	物質工学特別講義	4以下	
	○物質工学特別演習	2	
○物質工学特別研究	10		
化学生物工学専攻	有機反応速度論	2	○印は 必修科目
	有機化学特論	2	
	資源エネルギー特論	2	
	機能材料化学特論	2	
	機能分子化学特論	2	
	有機光化学特論	2	
	バイオリクター特論	2	
	反応工学特論	2	
	成分分離工学特論	2	
	分離操作設計特論	2	
	移動速度論特論	2	
	分析化学特論	2	
	生体機能化学特論	2	
	生物界面化学特論	2	
	生物電気化学特論	2	
	細胞分子工学特論	2	
	バイオエレクトロニクス特論	2	
	細胞機能工学特論	2	
	分子生物学特論	2	
	化学生物工学特別講義	4以下	

	○化学生物工学特別演習	2
	○化学生物工学特別研究	10

別表2 (博士後期課程)

専攻	授業科目	単位数	備考
システム科学専攻	計算機援用工学特論	2	○印は 必修科目
	知的インタフェース	2	
	オートマトン理論	2	
	計算機論理設計特論	2	
	シミュレーション特論	2	
	自然言語処理特論	2	
	符号理論特論	2	
	画像通信特論	2	
	情報伝送工学特論	2	
	情報数理	2	
	視覚情報工学特論	2	
	超音波工学特論	2	
	生体情報工学特論	2	
	生体機能工学特論	2	
	パターン認識特論	2	
	視覚情報処理特論	2	
	画像情報処理特論	2	
	応用数理解析特論	2	
	確率解析学特論	2	
	離散数理学特論	2	
関数解析学特論	2		
応用整数論	2		
力学系特論	2		
多変数複素解析学特論	2		
現象解析特論	2		
量子数理科学特論	2		
固体力学特論	2		
応用計算力学特論	2		
破壊力学特論	2		
機械加工学特論	2		
材料塑性学特論	2		
切削工学特論	2		
塑性工学特論	2		
精密機械システム学特論	2		
機械運動学特論	2		
システム制御工学特論	2		
機能制御要素特論	2		
画像計測特論	2		

物質科学 専攻	機械電子制御学特論	2	○印は 必修科目		材料内部構造設計特論	2	
	光学計測特論	2			電子材料学特論	2	
	材料強度学特論	2			応用磁気材料学特論	2	
	高温強度学特論	2			機能性材料化学特論	2	
	空間構造論	2			金属化学特論	2	
	多次元解析学特論	2			材料製錬工学特論	2	
	確率制御特論	2			複合素材工学特論	2	
	○特別研究				凝固学特論	2	
	○特別実習				機能性材料学特論	2	
	○特別演習				先進材料工学特論	2	
	特別講義 1	2			○特別研究		
	特別義講 2	2			○特別実習		
	特別義講 3	2			○特別演習		
	特別義講 4	2			特別講義 1	2	
	特別義講 5	2			特別講義 2	2	
	有機反応化学特論	2			特別講義 3	2	
	精密有機合成化学特論Ⅰ	2			特別講義 4	2	
	精密有機合成化学特論Ⅱ	2			特別講義 5	2	
	有機機能分子化学特論	2					
	ヘテロ原子化学特論	2			パワーエレクトロニクス工学特論	2	
複素環化学特論	2	熱流体システム特論	2				
構造有機化学特論Ⅰ	2	応用熱力学特論	2				
合成有機化学特論	2	応用流体力学特論	2				
構造有機化学特論Ⅱ	2	応用伝熱論	2				
環境化学反応特論	2	移動現象理論Ⅰ	2				
生体高分子化学特論	2	拡散操作特論Ⅰ	2				
高分子機能特論	2	移動現象理論Ⅱ	2				
半導体物性特論	2	拡散操作特論Ⅱ	2				
表面物性特論	2	プラズマ応用工学特論	2				
誘電体物性工学特論	2	宇宙・核融合プラズマと数値シミュレーション	2				
接合界面工学	2	エネルギー物質科学特論	2				
薄膜物性工学特論	2	重力理論特論	2				
液晶エレクトロニクス特論	2	根源物質エネルギー学特論	2				
表示デバイス特論	2	レーザー分光特論	2				
低温・凝縮特論	2	電波物理学特論	2				
磁性・低温特論	2	量子エレクトロニクス特論	2				
結晶構造学特論	2	電波分光特論	2				
構造物性物理学	2	分子物性化学特論	2				
生命電気工学特論	2	化学反応速度学特論	2				
遺伝情報工学特論	2	触媒化学特論Ⅰ	2				
粒子設計プロセス工学	2	遷移金属化学特論	2				
粉体物性工学特論	2	高分子物理化学特論	2				
粒子分離プロセス工学	2	触媒化学特論Ⅱ	2				
		水素同位体科学	2				

	水素エネルギー材料学特論	2		核 構 造 学 特 論	2
	放射線環境科学特論	2		生体分子機能工学特論	2
	核融合材料学特論	2		環境化学計測平衡論	2
	岩石学特論	2		物質循環特論	2
	地史学特論	2		同位体地球化学特論	2
	○特別研究			環境水計測化学	2
	○特別実習			測地・地震学特論	2
	○特別演習			雪水環境特論	2
	特別講義 1	2		地球環境電磁気学	2
	特別講義 2	2		地球磁気学特論	2
	特別講義 3	2		地殻変動学(テクトニクス)特論	2
	特別講義 4	2		海域計測学特論	2
	特別講義 5	2		生体エネルギー特論	2
生命環境 科学専攻	生体触媒工学特論	2	○印は 必修科目	生体応答学特論	2
	生物化学工学特論	2		環境生物学特論	2
	生物生産工学特論	2		生物物理化学特論	2
	生体触媒化学特論	2		○特別研究	
	発生生物学特論	2		○特別実習	
	生体調節学特論	2		○特別演習	
	内分泌細胞学特論	2		特別講義 1	2
	植物発生分化学特論	2		特別講義 2	2
	遺伝情報解析学特論	2		特別講義 3	2
	オルガネラ分子生物学	2		特別講義 4	2
	生体構造分類学特論	2		特別講義 5	2
	比較生体構造学特論	2			

富山大学大学院理工学研究科委員会規則の制定

富山大学大学院理工学研究科委員会規則の制定理由

大学院理工学研究科（博士課程）の設置に伴い、所要事項を定める。

富山大学大学院理工学研究科委員会規則を次のとおり制定する。

平成10年 3 月27日

富山大学長 時 澤 貢

富山大学大学院理工学研究科委員会規則

(趣 旨)

第 1 条 富山大学大学院学則第49条第 2 項の規定に基づき、富山大学大学院理工学研究科委員会（以下「委員

会」という。）の組織、審議事項及び運営等について定めるものとする。

(組 織)

第 2 条 委員会は、次に掲げる職員をもって組織する。

(1) 研究科長

- (2) 副研究科長
 (3) 専攻長
 (4) 講座主任
 (5) 第6条に規定する富山大学大学院理工学研究科博士前期課程理学部会から選出された教授 2人
 (6) 第6条に規定する富山大学大学院理工学研究科博士前期課程工学部会から選出された教授 4人
- 2 前項第5号及び第6号の委員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
 (審議事項)

第3条 委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 研究科担当教員に関する事項
 (2) 予算に関する事項
 (3) 入学者の選考に関する事項
 (4) 課程修了の認定に関する事項
 (5) 学位に関する事項
 (6) 教育課程その他教務に関する事項
 (7) 学生の身分及び厚生補導に関する事項
 (8) 規則の制定及び改廃に関する事項
 (9) その他研究科の教育・研究及び運営に関する事項
 (議 事)

第4条 委員会は研究科長が招集し、その議長となる。

- 2 研究科長に事故あるときは、副研究科長がその職務を代行する。
 3 委員会は、研究科長が必要と認めるとき又は委員の3分の1以上から付議すべき事項を示して請求のあったときこれを開く。
 4 委員会は、委員（長期出張中又は休職中の委員を除

く。）の2分の1以上が出席しなければ議事を開き議決することができない。

- 5 議事は、出席委員の3分の2以上の同意をもって決する。ただし、富山大学学位規則第14条に規定する事項に関しては、出席委員の4分の3以上の同意を必要とする。

(意見の聴取)

第5条 委員会が必要と認めるときは、委員以外の者の出席を求めて、意見を聴くことができる。

(部会の設置)

第6条 委員会に、富山大学大学院理工学研究科博士前期課程理学部会、富山大学大学院理工学研究科博士前期課程工学部会及び富山大学大学院理工学研究科博士後期課程部会（以下「部会」という。）を置く。

- 2 部会については、別に定める。

(委 任)

第7条 委員会は、第3条各号に掲げる事項について、範囲を特定し、その審議を部会に委任することができる。

(庶 務)

第8条 委員会の庶務は、研究科長の所属する学部の事務部において処理する。

(雑 則)

第9条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規則は、平成10年4月1日から施行する。



第2回防災委員会（3月2日）

(議 題)

- (1) 平成9年度の防災活動実施状況について
 (2) その他

第2回環日本海地域研究センター運営委員会（3月3日）

(協議事項)

- (1) 環日本海環境協力センターからの依頼について
 (2) 第1回環日本海懸賞論文について
 (3) その他

第107回構内交通対策委員会（3月11日）

(議 題)

- (1) 富山大学五福地区構内交通規制に関する実施要項及び実施細目の一部改正について
 (2) 入構許可証の発行等について
 (3) 交通安全一斉指導及び無許可車両・駐停車違反車両の一斉取締りについて
 (4) その他

第4回生涯学習教育研究センター運営委員会（3月11日）

(議 題)

- (1) 生涯学習教育研究センター長の選考について
- (2) 生涯学習教育研究センター副センター長の選考について
- (3) その他

第3回国際交流委員会(3月13日)

(審議事項)

- (1) 平成10年度富山大学国際交流事業基金各種事業の募集要項(案)について
- (2) 富山大学留学生センターの設置要求について
- (3) その他

第14、15回評議会(3月16日)

(議 題)

- (1) 学内搜索について

第5回総合情報処理センター運営委員会(3月17日)

(審議事項)

- (1) 次期センター長候補者の選考について
- (2) 富山大学総合情報処理センター端末室及び演習室利用内規について
- (3) 平成11年度概算要求について
- (4) その他

第6回教養教育委員会(3月18日)

(審議事項)

- (1) 教養教育の実施体制及び担当教官の確保策について
- (2) その他

第6回附属図書館商議会(3月18日)

(審議事項)

- (1) 平成10年度附属図書館開館日程(案)について
- (2) 平成11年度附属図書館歳出概算要求について
- (3) 学内措置による基本参考図書購入費の増額について

第11回部局長懇談会(3月20日)

(議 題)

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

第4回大学院委員会(3月20日)

(審議事項)

- (1) 富山大学大学院学則の一部改正について
- (2) 富山大学学位規則の一部改正について
- (3) 富山大学大学院経済学研究科規則の一部改正について
- (4) 富山大学大学院理工学研究科規則の制定について
- (5) 富山大学大学院理工学研究科委員会規則の制定について
- (6) 学生の除籍について
- (7) その他

第16回評議会(3月20日)

(審議事項)

- (1) 富山大学学則の一部改正について
- (2) 富山大学教育学部規則の一部改正について
- (3) 富山大学大学院学則の一部改正について
- (4) 富山大学学位規則の一部改正について
- (5) 富山大学大学院経済学研究科規則の一部改正について
- (6) 富山大学大学院理工学研究科規則の制定について
- (7) 富山大学大学院理工学研究科委員会規則の制定について
- (8) 富山大学機器分析センター規則の制定について
- (9) 外国人教員の任期について
- (10) 学生の除籍について
- (11) その他

第10回事務協議会(3月24日)

(議 題)

- (1) 当面の諸課題について

第12回部局長懇談会(3月27日)

(議 題)

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

第17回評議会(3月27日)

(議 題)

- (1) 理学部発議処分案件について
- (2) その他



学 位 取 得 者



学位取得者 人文学部 講 師 長井 由里

学位の種類 博士（文学）（京都大学）

取得年月日 平成10年 3月23日

学位論文名 張作霖政権の研究

－「奉天文治派」から見た歴史的意義を中心に－

論文の要旨

張作霖政権の地域政権としての統治実態と歴史的意義について、重要な構成メンバー「奉天文治派」官僚の動向や理念を通じて研究した。要点：該政権は、地域社会が近世から近代へ変動していく上で、上記メンバーを軸に独自の改革を進められる政権であった。改革の鍵は軍隊と行政の職掌分担、及び地方財政基盤の強化にあった。改革の途上でナショナリズムとリージョナリズムの両立困難に遭遇し、その矛盾は次代に持ち越された。

平成10年度

富山大学入学者選抜個別学力検査（後期日程）を実施

平成10年度入学者選抜個別学力検査（後期日程）が、去る3月12日（木）に実施されました。

検査は、人文学部，教育学部，経済学部，理学部及び工学部の各検査場において、学力検査，実技検査，小論文及び面接などが行われ，3月20日（金）に合格者が発表されました。

なお，後期日程の志願者数，合格者数等は次のとおりです。



▲ 後期日程合格発表

平成10年度 富山大学入学者選抜試験（後期日程）実施状況

学部	学科・課程		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	備 考
人文	人 文 学 科		15	145	67	21	
	国 際 文 化 学 科		12	104	37	17	
	言 語 文 化 学 科		20	260	103	28	
	計		47	509	207	66	
教育	員学 養校 成教 課程教	学 校 教 育 系	10	78	44	11	
		障 害 児 教 育 系	3	15	8	3	
		言 語 ・ 社 会 系	10	392	242	11	
		自 然 ・ 生 活 系	11	102	61	12	
		芸 術 ・ 体 育 系	6	132	88	6	
	育総 課合 程教	情 報 教 育 コ ー ス	4	43	20	4	
		環 境 教 育 コ ー ス	3	22	13	3	
		生 涯 ス ポ ー ツ コ ー ス	3	34	24	3	
計		50	818	500	53		
経済	昼間 コース	経 済 学 科	31	230	89	45	
		経 営 学 科	24	187	72	31	
		経 営 法 学 科	20	288	120	35	
		小 計	75	705	281	111	
	夜間 コース	経 済 学 科	4	46	25	7	
		経 営 学 科	5	40	24	7	
		経 営 法 学 科	5	65	31	10	
		小 計	14	151	80	24	
計		89	856	361	135		
理	数 学 学 科		7	16	9	8	
	物 理 学 科		9	29	6	6	
	化 学 学 科		8	40	14	8	
	生 物 学 科		6	40	18	6	
	地 球 科 学 科		9	65	65	11	
	生 物 圏 環 境 科 学 科		5	58	33	6	
	計		44	248	145	45	
工	電 気 電 子 シ ス テ ム 工 学 科		19	95	95	35	
	知 能 情 報 工 学 科		17	80	80	25	
	機 械 知 能 シ ス テ ム 工 学 科		21	101	101	34	
	物 質 生 命 シ ス テ ム 工 学 科		32	416	164	36	
	計		89	692	440	130	
後 期 日 程 合 計			319	3,123	1,653	429	
前 期 日 程 合 計			918	3,688	3,430	1,062	
一 般 選 抜 合 計			1,237	6,811	5,083	1,491	

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
辞 職	10. 3. 31	堀 和子	教育学部会計係用度主任	辞職（勸奨）
退 職	10. 3. 31	秋山 武	学生部次長	定年退職
	〃	濱屋 節子	附属図書館情報サービス課参考調査係長	〃
	〃	前川 清徳	工学部用度係作業員長	〃
採 用	10. 4. 1	森 雅之		教務職員 工学部（電気電子システム 工学科）
昇 任	10. 4. 1	秦 文男	大臣官房調査統計企画課課長補佐	庶務部長
	〃	嶽釜 康雄	大阪大学学生課長	学生部次長
	〃	田中 成直	筑波大学図書館部情報システム課 課長補佐	附属図書館情報サービス課長
	〃	雁田 彰	工学部専門職員（研究協力担当）	入試課専門員（入学選抜担当）
	〃	脇坂 勝人	富山医科薬科大学教務部図書課情報企画係	附属図書館情報サービス課参考調査係長
	〃	小路 隆	庶務部庶務課庶務係庶務第一主任	高岡短期大学事業課専門職員
	〃	黒田 景一	経理部主計課総務係総務主任	富山工業高等専門学校会計課用度係長
	〃	種田ヨシエ	附属図書館情報サービス課参考調査係	富山工業高等専門学校庶務課図書係長
	〃	関川 国彦	庶務部人事課職員係職員主任	国立立山少年自然の家庶務課庶務係長
	〃	尾崎 美幸	経理部経理課出納係	経理部経理課出納係出納第二主任
	〃	北 治夫	経理部経理課情報処理係	経理部経理課情報処理係情報処理主任
	〃	大島 千春	人文学部・理学部庶務係	人文学部・理学部庶務係庶務第二主任
	〃	山崎 昌代	人文学部・理学部経理係	人文学部・理学部経理係経理第二主任
	〃	有沢 隆一	教育学部学務係	人文学部・理学部学務第一係 教務第二主任
	〃	山田 豊	人文学部・理学部学務第二係	人文学部・理学部学務第二係 教務第二主任
	〃	北村 岩雄	技術職員（工学部電気電子システム 工学科）	工学部技術専門官（電気電子システム 工学科）
	〃	高塚 清文	技術職員（庶務部庶務課）	庶務部庶務課技術専門職員
	〃	岩城 廣光	技術職員（人文学部・理学部）	人文学部・理学部技術専門職員
	〃	奥田 都	技術職員（教育学部）	教育学部技術専門職員
	〃	谷口 泰一	技術職員（工学部工場係長）	工学部技術専門職員（工場係長）
〃	藤岡 和典	技術職員（工学部工場係）	工学部技術専門職員（工場係）	
〃	中尾 良行	技術職員（工学部工場係）	工学部技術専門職員（工場係）	
〃	二宮 英治	技術職員（工学部工場係）	工学部技術専門職員（工場係）	

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
昇 任	10. 4. 1	高安 勇吉	技術職員（工学部電気電子システム工学科）	工学部技術専門職員（電気電子システム工学科）
	〃	柴田 幹	技術職員（工学部電気電子システム工学科）	工学部技術専門職員（電気電子システム工学科）
	〃	高瀬 博文	技術職員（工学部機械知能システム工学科）	工学部技術専門職員（機械知能システム工学科）
	〃	渡辺 秀一	技術職員（工学部機械知能システム工学科）	工学部技術専門職員（機械知能システム工学科）
	〃	室谷 和雄	技術職員（工学部機械知能システム工学科）	工学部技術専門職員（機械知能システム工学科）
	〃	大山 達雄	技術職員（工学部機械知能システム工学科）	工学部技術専門職員（機械知能システム工学科）
	〃	中村 善志	技術職員（工学部物質生命工学科）	工学部技術専門職員（物質生命工学科）
	〃	豊本 勉	技術職員（総合情報処理センター）	総合情報処理センター技術専門職員
転 任	10. 4. 1	松下 義春	富山医科薬科大学総務部経理課課長補佐	人文学部・理学部事務長補佐
	〃	松永 良成	人文学部・理学部事務長補佐	富山医科薬科大学総務部経理課課長補佐
	〃	作井 功	富山工業高等専門学校庶務課庶務係長	庶務部人事課専門職員（研修企画担当）
	〃	御福 隆	富山工業高等専門学校学生課学務担当 専門職員	厚生課専門職員
	〃	三井 進	富山商船高等専門学校庶務課専門職員 （情報システム担当）	経済学部専門職員（外国人留学生担当）
	〃	宮村 健壮	経済学部専門職員（外国人留学生担当）	富山医科薬科大学教務部学生課専門職員
	〃	西尾 久	人文学部・理学部学務第二係長	富山商船高等専門学校庶務課専門職員 （情報システム担当）
	〃	朝野 真	国立立山少年自然の家庶務課庶務係長	庶務部企画室企画係長
	〃	大場 和夫	富山医科薬科大学教務部図書課 情報サービス係長	経理部経理課管理係長
	〃	牧石 信康	富山医科薬科大学総務部経理課情報処理 係長	経理部経理課情報処理係長
	〃	湯浅 健一	富山医科薬科大学教務部学生課 教務第二係長	人文学部・理学部学務第二係長
	〃	門前 剛二	高岡短期大学庶務課庶務係長	教育学部庶務係長
	〃	堀 周一	富山商船高等専門学校学生課学生係長	経済学部学生係長
	〃	河西 義一	経済学部庶務係長	高岡短期大学事業課企画調査係長
	〃	高尾 邦彦	庶務部企画室企画係長	富山工業高等専門学校庶務課庶務係長
	〃	波間 雄二	厚生課専門職員	富山工業高等専門学校学生課教務係長
	〃	濱野 松男	厚生課専門職員	富山工業高等専門学校学生課寮務係長
	〃	櫻井 雅和	経済学部学生係長	富山商船高等専門学校学生課学生係長
	〃	田村 修一	富山商船高等専門学校会計課総務係 総務主任	経理部経理課用度係用度主任
	〃	西田 等	富山医科薬科大学業務部医事課総務係 外来第二主任	人文学部・理学部庶務係人事主任
	〃	佐藤 修	高岡短期大学学生課教務係教務主任	教育学部学務係教務第二主任
	〃	永井 昭光	富山工業高等専門学校会計課用度係 用度主任	教育学部附属学校第一係会計主任
	〃	野澤 和子	富山医科薬科大学総務部経理課用度第一係 調達第一主任	工学部用度係用度第二主任

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
転 任	10. 4. 1	山田 浩司	国立立山少年自然の家庶務課会計係	経理部経理課管理係
	〃	釜谷 充哉	大阪大学施設部建築課建築第三掛	施設課工営係
	〃	高尾 京子	富山工業高等専門学校庶務課図書係	附属図書館情報サービス課参考調査係
	〃	浦島布美子	富山商船高等専門学校会計課施設係	経済学部教務係
	〃	山本 徹	富山商船高等専門学校庶務課庶務係	工学部庶務係
	〃	川成 淳也	国立立山少年自然の家事業課業務係	工学部用度係
	〃	斉藤 智明	工学部学務係	高岡短期大学学生課教務係
	〃	新井 慶子	人文学部・理学部庶務係	富山工業高等専門学校庶務課庶務係
	〃	松下 慶子	工学部用度係	富山工業高等専門学校会計課総務係
	〃	名越真紀子	経済学部会計係	富山工業高等専門学校会計課用度係
	〃	本多 了	人文学部・理学部用度係	富山商船高等専門学校庶務課庶務係
	〃	山中 勝也	経済学部教務係	富山商船高等専門学校会計課用度係
	〃	伏喜希代子	人文学部・理学部用度係	富山商船高等専門学校会計課施設係
	〃	竹田 充輝	工学部用度係	国立立山少年自然の家庶務課会計係
	〃	片山 好孝	教育学部附属学校第一係	国立立山少年自然の家事業課業務係
配 置 換	10. 4. 1	水上 修一	室蘭工業大学事務局長	事務局長
	〃	菊地 洋男	事務局長	鳥取大学事務局長
	〃	磯村 成	庶務部長	三重大学総務部長
	〃	神野 政幸	兵庫教育大学総務部会計課長	経理部主計課長
	〃	小林 芳夫	主計課長	愛媛大学経理部主計課長
	〃	重里 信一	附属図書館情報サービス課長	信州大学附属図書館情報管理課長
	〃	田中 祥男	経理部経理課管理係長	学生課専門職員
	〃	本吉 友治	学生課学生係長	学生課専門職員
	〃	石川 裕史	経理部経理課情報処理係長	厚生課専門職員
	〃	酒井 利満	人文学部・理学部庶務係長	庶務部庶務課学事調査係長
	〃	向 雅己	庶務部庶務課学事調査係長	庶務部人事課給与係長
	〃	齋藤 純一	教育学部庶務係長	人文学部・理学部庶務係長
	〃	地崎 昇	工学部用度係長	人文学部・理学部経理係長
	〃	宮原 進	庶務部人事課給与係長	経済学部庶務係長
	〃	能手 哲治	人文学部・理学部経理係長	工学部用度係長
〃	山田 洋一	庶務部庶務課庶務係庶務第二主任	庶務部庶務課庶務係庶務第一主任	

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
配 置 換	10. 4. 1	飯野るみ子	庶務部庶務課庶務係庶務第三主任	庶務部庶務課庶務係庶務第二主任
	〃	笹岡 博史	入試課入学試験係入学試験主任	庶務部庶務課学事調査係研究協力主任
	〃	能波 輝之	庶務部庶務課学事調査係研究協力主任	経理部主計課総務係総務主任
	〃	北角 政信	経理部経理課用度係用度主任	経理部主計課監査係監査主任
	〃	新井 浩	経理部経理課給与係給与主任	経理部主計課管財係管財主任
	〃	高瀬 範和	経理部経理課出納係出納主任	経理部経理課出納係出納第一主任
	〃	田中 正博	人文学部・理学部経理係経理主任	経理部経理課給与係給与主任
	〃	真田 敏江	経理部主計課監査係監査主任	附属図書館情報管理課総務係総務主任
	〃	佐久間克明	厚生課厚生企画係厚生企画主任	附属図書館情報管理課総務係 年史編纂事務主任
	〃	藏川 一正	人文学部・理学部庶務係庶務主任	人文学部・理学部庶務係庶務第一主任
	〃	絹石 達也	工学部庶務係庶務主任	人文学部・理学部経理係経理第一主任
	〃	武本 光雄	工学部庶務係研究協力主任	人文学部・理学部用度係用度第一主任
	〃	藤田 一吉	人文学部・理学部用度係用度主任	人文学部・理学部用度係用度第二主任
	〃	光地 浩和	人文学部・理学部学務第一係教務第二主任	人文学部・理学部学務第一係教務第一主任
	〃	小林 雄二	人文学部・理学部学務第二係教務主任	人文学部・理学部学務第二係教務第一主任
	〃	新井 健二	教育学部学務係教務主任	教育学部学務係教務第一主任
	〃	新庄 忍	附属図書館情報管理課総務係総務主任	経済学部会計係経理主任
	〃	石塚 久博	工学部庶務係人事主任	工学部庶務係庶務主任
	〃	荒井 誠一	附属図書館情報管理課総務係 年史編纂 務主任	工学部庶務係研究協力主任
	〃	澤崎 勝彦	工学部用度係用度主任	工学部用度係用度第一主任
	〃	小林 司	人文学部・理学部学務第一係教務第一主任	工学部学務係教務主任
	〃	横井 宏正	学生課学生係	庶務部人事課職員係
	〃	酒井 勝子	工学部経理係	人文学部・理学部用度係
	〃	細田 和義	経理部主計課管財係	教育学部会計係
	〃	中波 憲子	経理部経理課管理係	教育学部附属学校第一係
	〃	池田真紀美	教育学部附属学校第一係	工学部経理係
	〃	鳥海衣美子	経済学部教務係	工学部学務係
退 職	10. 4. 1	平野砂都美	経理部経理課管理係	10. 3. 31限り任期満了退職
育児休業	10. 4. 1	中波 憲子	経理部経理課管理係	職務復帰
職務命令	10. 4. 1	田中 祥男	学生課専門職員	学生課専門員を命ずる
	〃	御福 隆	厚生課専門職員	主任専門職員を命ずる

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
職務命令	10. 4. 1	雁田 彰	工学部専門職員（研究協力担当）	研究協力担当を免ずる
	〃	宮村 健壯	経済学部専門職員（外国人留学生担当）	外国人留学生担当を免ずる
	〃	宮越 謙三	工学部専門職員（外国人留学生担当）	研究協力担当を命ずる 外国人留学生担当を免ずる
	〃	種田ヨシエ	附属図書館情報サービス課参考調査係	附属図書館情報サービス課参考調査係 参考調査主任 免る
採 用	10. 4. 1	安部 公子		事務補佐員（附属図書館情報サービス課 情報サービス係）
	〃	平野砂都美		事務補佐員（教育学部庶務係）
	〃	柳井瑠美子		事務補佐員（工学部電気電子システム 工学科）
	〃	竹島結実枝		事務補佐員（工学部知能情報工学科）
	〃	川崎 宏子		事務補佐員（工学部機械知能工学科）
退 職	〃	伊林 文子	事務補佐員（附属図書館情報サービス課 情報サービス係）	平成10年3月31日限り退職
	〃	吉村 典子	事務補佐員（工学部知能情報工学科）	〃
	〃	堀 愛里	事務補佐員（工学部機械知能工学科）	〃
辞 職	10. 3. 31	中 純夫	助教授 人文学部（人文学科人間基礎論）	辞職
	〃	齋藤 孝滋	助教授 〃 （言語文化学科 日本東洋言語文化）	〃
	〃	山本富美子	講 師 〃 （国際文化学科 国際文化論）	〃
	〃	黒柳 晴夫	教 授 教育学部（学校教育）	〃
	〃	瀬戸 健	教 諭 〃 （附属小学校）	〃
	〃	山下 善路	教頭（副校長）〃（附属中学校）	〃
	〃	田中 英雄	教 諭 〃 （ 〃 ）	〃
	〃	西田 知代	教 諭 〃 （附属養護学校）	〃
	〃	丸田万里子	教 諭 〃 （ 〃 ）	〃
	〃	吉田真寿美	教 諭 〃 （附属幼稚園）	〃
	〃	菊田 健作	教 授 経済学部（経営学科管理科学）	〃
	〃	山本 直孝	教 授 〃 （経営法学科企業関係法）	〃
	〃	醍醐 元正	助教授 〃 （経営学科管理科学）	〃
	〃	木幡 伸二	助教授 〃 （経済学科比較経済論）	〃
退 職	10. 3. 31	杉谷利枝子	教頭（副園長）教育学部（附属幼稚園）	10. 3. 31限り定年退職
採 用	10. 4. 1	鈴木 信昭		助教授 人文学部（国際文化学科 国際文化論）
	〃	武田 昭文		助教授 〃 （言語文化学科 ヨーロッパ言語文化）
	〃	田畑 真美		助教授 〃 （人文学科人間基礎論）
	〃	内山 純蔵		講 師 〃 （国際文化学科 文化環境論）

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
採 用	10. 4. 1	梁 有紀		講 師 人文学部 (言語文化学科 日本東洋言語文化)
	〃	小野 直子		講 師 〃 (国際文化学科 国際文化論)
	〃	澤柿 教淳		教 諭 教育学部 (附属小学校)
	〃	大澤 保		教頭 (副校長) 〃 (附属中学校)
	〃	有島 洋之		教 諭 〃 (〃)
	〃	秋元 伸吾		教 諭 〃 (附属養護学校)
	〃	保里 良隆		教 諭 〃 (〃)
	〃	常川 允子		教頭 (副園長) 〃 (附属幼稚園)
	〃	河崎 美香		教 諭 〃 (〃)
	〃	片岡宏一郎		助教授 経済学部 (経営法学科民事法)
	〃	内田 康郎		講 師 〃 (経営学科経営学)
	〃	馬 駿		助 手 〃 (経営学科経営学)
	〃	張 勁		講 師 理学部 (生物圏環境科学科 環境化学計測) (任期H13. 3. 31まで)
	〃	佐竹 信一		講 師 工学部 (機械知能システム 工学科機械制御情報工学)
	〃	三井 隆志		助 手 〃 (電気電子システム 工学科電子物性デバイス工学)
昇 任	10. 4. 1	別本 明夫	助教授 人文学部 (言語文化学科 ヨーロッパ言語文化)	教 授 人文学部 (言語文化学科 ヨーロッパ言語文化)
	〃	跡上 史郎	助 手 東北大学東北アジア研究センター	助教授 〃 (国際文化学科 文化環境論)
	〃	大森 克史	助教授 教育学部 (情報教育)	教 授 教育学部 (数学教育)
	〃	神川 康子	助教授 〃 (家政教育)	教 授 〃 (家政教育)
	〃	諸岡 晴美	助教授 〃 (家政教育)	教 授 〃 (家政教育)
	〃	山根 拓	講 師 〃 (社会科教育)	助教授 〃 (社会科教育)
	〃	黒田 卓	講 師 〃 (情報教育)	助教授 〃 (技術教育)
	〃	堀田 龍也	講 師 〃 (附属教育実践研究 指導センター)	助教授 〃 (附属教育実践研究 指導センター)
	〃	酒井 富夫	助教授 経済学部 (経済学科政策科学)	教 授 経済学部 (経済学科政策科学)
	〃	今井 克典	講 師 〃 (経営法学科企業関係法)	助教授 〃 (経営法学科企業関係法)
	〃	大坂 洋	講 師 〃 (経済学科理論経済学)	助教授 〃 (経済学科理論経済学)
	〃	森口 毅彦	助 手 〃 (経営学科応用経営)	講 師 〃 (経営学科応用経営)
	〃	鈴木 炎	助 手 九州大学理学部	助教授 理学部 (化学科反応物性化学)
	〃	升方 勝己	助教授 長岡技術科学大学工学部	教 授 工学部 (電気電子システム工学 科電気システム工学)
	〃	堀田 裕弘	講 師 工学部 (電気電子システム工学 科通信制御工学)	助教授 〃 (電気電子システム工学 科通信制御工学)
	〃	安川 洋生	助 手 金沢大学大学院自然科学研究科	助教授 〃 (物質生命システム工学 科生命工学)

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
昇 任	10. 4. 1	波多野雄治	助 手 九州大学工学部	助教授 水素同位体機能研究センター
転 任	10. 4. 1	伊藤美重子	助教授 人文学部 (言語文化学科 日本東洋言語文化)	助教授 お茶の水女子大学文教育学部
	〃	磯崎 尚子	助教授 鳴門教育大学学校教育学部	助教授 教育学部 (家政教育)
配 置 換	10. 4. 1	高辻 則夫	助教授 地域共同研究センター	助教授 工学部 (機械知能システム工学 科機械制御情報工学)
任用更新	10. 4. 1	高桑 幸子	教 諭 教育学部 (附属養護学校)	任用更新 (~10. 4. 11)
併 任	10. 4. 1	安藤 修平	教 授 教育学部	教育学部 附属小学校長 (~12. 3. 31)
	〃	中村 義朗	教 授 〃	〃 附属中学校長 (〃)
	〃	中井 学	教 授 〃	〃 附属養護学校長 (〃)
	〃	長谷川総一郎	教 授 〃	〃 附属幼稚園長 (〃)
	〃	中村 剛	教 授 保健管理センター	保健管理センター所長 (〃)
	〃	久保 文夫	教 授 理学部	理学部 数学科長 (~11. 3. 31)
	〃	高木光司郎	教 授 〃	〃 物理学科長 (〃)
	〃	金森 寛	教 授 〃	〃 化学科長 (〃)
	〃	内山 実	教 授 〃	〃 生物学科長 (〃)
	〃	氏家 治	教 授 〃	〃 地球科学科長 (〃)
	〃	黒田 英世	教 授 〃	〃 生物圏環境科学科長 (〃)
	〃	坂井 純一	教 授 工学部	工学部 電気電子システム工学科長 (〃)
	〃	米田 政明	教 授 〃	〃 知能情報工学科長 (〃)
	〃	岩城 敏博	教 授 〃	〃 機械知能システム工学科長 (〃)
	〃	吉村 敏章	教 授 〃	〃 物質生命システム工学科長 (〃)
	〃	河崎善司郎	教 授 〃	〃 電子情報工学科長 (〃)
	〃	岩城 敏博	教 授 〃	〃 機械システム工学科長 (〃)
	〃	新井 甲一	教 授 〃	〃 物質工学科長 (〃)
〃	森田 弘之	教 授 〃	〃 化学生物工学科長 (〃)	
退 職	10. 4. 1	藤井 一行	教 授 人文学部 (国際文化学科 国際文化論)	10. 3. 31限り停年退職
	〃	勝野 良一	教 授 〃 (国際文化学科 文化環境論)	〃
	〃	奥貫 晴弘	教 授 〃 (言語文化学科 ヨーロッパ言語文化)	〃
	〃	中川 眸	教 授 教育学部 (家政教育)	〃
	〃	笹尾 靖也	教 授 〃 (数学教育)	〃
	〃	吉原 節夫	教 授 経済学部 (経営法学科民事法)	〃
	〃	伊藤 格夫	教 授 〃 (経営学科経営学)	〃

異動区分	発令年月日	氏 名	異 動 前 の 所 属 官 職	異 動 内 容
退 職	10. 4. 1	塩谷 俊作	教 授 理学部 (化学科合成有機化学)	10. 3. 31限り停年退職
	〃	堀越 叡	教 授 〃 (地球科学科地球進化学)	〃
	〃	水谷 義彦	教 授 〃 (生物圏環境科学科 環境 科 計測)	〃
	〃	池田 長康	教 授 工学部 (電気電子システム工学 電気システム工学)	〃

学 内 諸 報

生涯学習教育研究センター長に米田工学部教授を再選



米田生涯学習教育研究センター長の任期が、平成10年5月10日で満了することに伴い、次期センター長候補者の選考が、去る3月11日開催の生涯学習教育研究センター運営委員会において行われ、米田政明工学部教授が再選されました。

また、次期副センター長候補者の選考も行われ、大石昂教授が再選されました。

米田教授は、昭和42年3月東北大学工学部通信工学科卒業、同44年3月東北大学大学院工学研究科修士課程修了、同47年11月東北大学大学院工学研究科博士課程を修了、同47年4月富山大学工学部講師に採用され、同48年3月同助教授、同63年5月同教授となり、平成8年5月から生涯学習教育研究センター長を併任され、現在に至っています。任期は、平成10年5月11日から2年間。

専門は、情報工学。工学博士（東北大学）。

富山県出身。

(就任の抱負)

第一期に引き続き、図らずも生涯学習教育研究センター長をお引受けすることになりました。研究、教育と並んで「地域への貢献」が大学の果たすべき第三の使命とされています。第一期は、その第三の使命を果たすための基礎づくりを夢中でやってきました。

このところ日本経済の立て直しが国民の最大関心事で、行財政改革が忘れられている感がありますが、いずれまた国立大学のエージェンシー化や民営化が世間の話題になることと思います。そんな時、富山大学は地域社会から愛される大学になってほしいものです。

研究の高度化は無論重要です。学生の教育にもエネルギーを注がなければなりません。その上で、地域から愛される富山大学をつくるために、本センターは最大限の努力をしていきたいと考えています。皆様には、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

退職者を囲む懇談会

— 教官12名 事務系4名 —

平成9年度に定年（停年）及び勸奨により退職される方々を囲む懇談会が、去る3月16日（月）11時50分から黒田講堂会議室において開催されました。

懇談会では、時澤学長から退職者一人一人に記念品が贈呈された後、永年にわたって本学に尽くされたことへ

のねぎらいの挨拶がありました。これに対して退職者を代表して附属図書館情報サービス課参考調査係長濱屋節子さんが謝辞を述べられました。

記念撮影に引き続き懇親会が催され、終始和やかな雰囲気の中、古き良き思い出に話がはずんでいました。

なお、退職される方々は次のとおりです。

学 生 部	文部事務官	秋 山 武
人 文 学 部	文 部 教 官	藤 井 一 行
〃	〃	勝 野 良 一
〃	〃	奥 貫 晴 弘
教 育 学 部	文 部 教 官	笹 尾 靖 也
〃	〃	中 川 眸
〃	文部事務官	堀 和 子
教育学部附属幼稚園	文 部 教 官	杉 谷 利 枝 子
経 済 学 部	文 部 教 官	伊 藤 格 夫
〃	〃	吉 原 節 夫
理 学 部	文 部 教 官	塩 谷 俊 作
〃	〃	堀 越 叡
〃	〃	水 谷 義 彦

工 学 部	文 部 教 官	池 田 長 康
〃	用 務 員	前 川 清 徳
附属図書館	文部事務官	濱 屋 節 子



▲ 学長を囲み記念撮影

総合情報処理センター建物竣工記念式典を挙る

総合情報処理センターでは、去る3月10日（火）に黒田講堂会議室において建物竣工記念式典を挙りました。

式典は、桂木センター長の式辞、時澤学長の挨拶に続き文部省学術国際局長の祝辞（学術情報課柴崎課長補佐代読）がありました。引き続き工事概要報告及び工事関係者に感謝状の贈呈が行われました。

その後、施設見学、祝賀会があり、建物の竣工を祝いました。

同センターは、平成8年5月学内共同教育研究施設（省令施設）として設置が認められ、平成9年12月10日に情報教育棟（増築）が竣工しました。

既設建物と増築建物の接続部にはアルミサッシとガラスを多く用い、屋根（玄関）を曲線にして柔らかさと時代の先端性を表現し、明るい開放感のある空間を設けることに重点を置いた。

また、1階玄関の奥には坪庭を配置し、大型ガラス越しに景観を眺めることができるようにし、端末室等で疲

れた目を癒せるようにした。

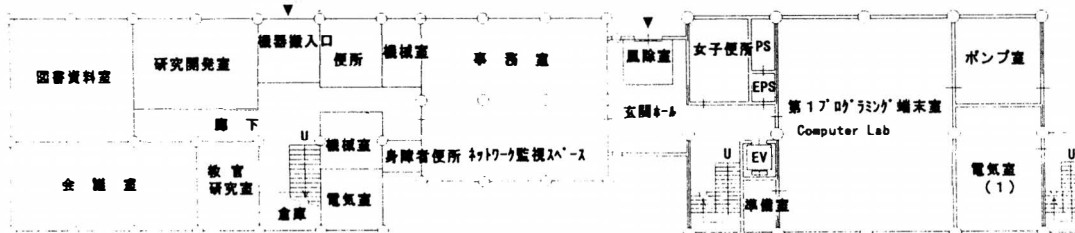
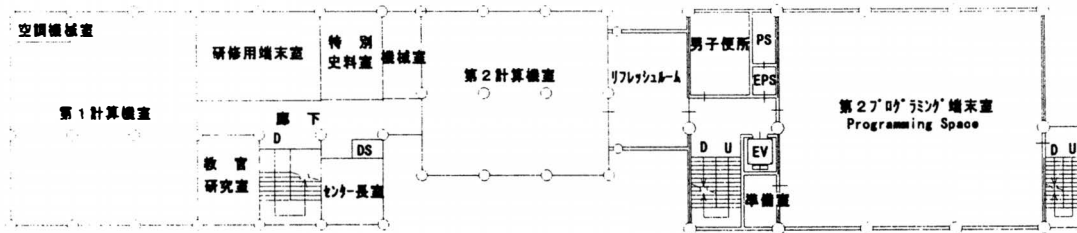
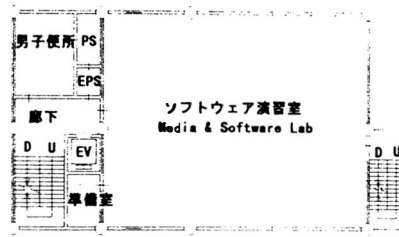
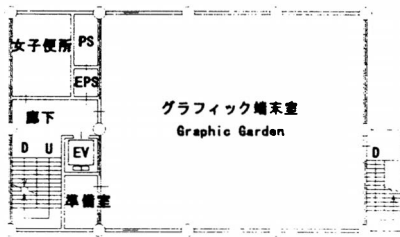
端末室等は、柱のない広い空間として利便性が考慮されており、最新鋭の映像機器やPC、WS等のマルチメディア端末等の設備が整備されています。



▲ センター全景（左側4階建が増築部分）

総合情報処理センター建物平面図

Computing and Network Services



海外渡航者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	理学部	助教授	酒井英男	ロシア連邦	バイカル湖での古地磁気研究に関する研究打合せ	10.3.4 }
	教育学部	助教授	市川文彦	フランス	現代ヨーロッパの流通業の計量的、総合的研究	10.3.9 }
						10.4.10

渡航の種類	所 属	職	氏 名	渡 航 先 国	目 的	期 間
外国出張	人文学部	教授	藤 本 幸 夫	ア メ リ カ 合 衆 国	東アジアにおける18世紀刑事判例のコンピュータ民族学的研究：中国、日本、韓国、ヴェトナムの比較	10. 3. 19 ） 10. 3. 29
	工学部	助手	松 田 健 二	ア メ リ カ 合 衆 国	「アルミニウムガラス中の超微粒子成長に伴う相変態」に関する研究プロジェクトの実施	10. 3. 31 ） 11. 3. 31
海外研修	人文学部	外国人 教 師	ザビーネローベ	中 華 人 民 共 和 国	外国語教授法についての共同研究プロジェクトに出席	10. 3. 7 ） 10. 3. 28
	〃	外国人 教 師	朱 繼 征	中 華 人 民 共 和 国	北京大学等における資料収集、文献調査	10. 3. 9 ） 10. 3. 27
	教育学部	助教授	大 森 克 史	フ ラ ン ス	移動境界問題の有限要素解析に関する研究打合せ、資料収集及び研究発表	10. 3. 14 ） 10. 3. 31
	経済学部	助教授	青 木 亮	ア メ リ カ 合 衆 国	道路プライシングに関する調査、資料収集	10. 3. 14 ） 10. 3. 25
	人文学部	教授	岡 村 信 孝	ド イ ツ	カント哲学に関する文献調査、研究	10. 3. 16 ） 10. 4. 17
	工学部	助教授	西 村 克 彦	オ ー ス ト ラ リ ア	低温核偏極による希土類金属間化合物の磁性研究	10. 3. 16 ） 10. 3. 28
	経済学部	助教授	角 森 正 雄	ア メ リ カ 合 衆 国	アメリカ合衆国民事訴訟法に関する資料収集及び連邦・州・郡裁判所視察	10. 3. 20 ） 10. 4. 12
	教育学部	助教授	宮 部 寛 志	ア メ リ カ 合 衆 国	液体クロマトグラフィー及び液相吸着分離における物質移動現象の速度論的解析	10. 3. 25 ） 11. 3. 31
	〃	助教授	市 瀬 和 義	連 合 王 国 ル ー マ ニ ア	理科教育及び科学史に関する研究資料収集等	10. 3. 25 ） 10. 4. 5
	工学部	教授	熊 沢 英 博	フ ィ リ ピ ン	フィリピンの農業並びに水産業におけるハイテクノロジーの利用に関する研究の打合せ等	10. 3. 26 ） 10. 4. 4
	経済学部	教授	八 木 保 夫	連 合 王 国	イギリス行政法の研究	10. 3. 27 ） 10. 8. 26

職 員 消 息

< 住所変更 >

部 局 名	官 職	氏 名
経 済 学 部	教 授 (比較経済論)	桂 木 健 次
〃	助 教 授 (比較経済論)	松 井 隆 幸
工 学 部	助 手 (設計生産工学)	岡 根 正 樹
〃	助 手 (設計生産工学)	會 田 哲 夫
〃	文部事務官 (庶務主任)	絹 石 達 也

主 要 行 事

本 部

- 3月3日 第3回国際交流委員会学術交流部会
 5日～6日 臨時東海・北陸地区事務局長会議（富山医科薬科大学）
 6日 平成10年度入学者選抜個別学力検査（前期日程）合格者発表
 9日 第10回自己点検評価委員会管理運営専門委員会
 11日 平成9年度中部地区研修担当官会議
 12日 平成10年度入学者選抜個別学力検査（後期日程）
 13日～14日 前期日程入学手続
 16日 退職者を囲む懇談会
 第4回教養教育委員会企画専門委員会
 19日 産学連携等研究費の取扱い等に関する事務説明会
 20日 平成10年度入学者選抜個別学力検査（後期日程）合格者発表
 24日 第11回自己点検評価委員会管理運営専門委員会

25日 平成9年度富山大学学位記授与式（富山市芸術文化ホール）

27日 後期日程入学手続

人 文 学 部

- 3月2日 独立大学院（人文・経済合同）委員会
 3日 前期日程合格者数検討会
 4日 教授会
 6日 学部教務委員会
 13日 教授会
 教授会（人事）
 研究科委員会
 17日 学部将来計画委員会と予算委員会の合同委員会
 学部学生生活委員会
 平成10年度前学期授業時間割担当者会議
 予算委員会
 18日 学部自己点検評価委員会
 後期日程合格者数検討会
 19日 独立大学院研究科（博士課程）設置検討委員

会
教授会
研究科委員会
24日 学部情報処理委員会
26日 学部国際交流委員会
30日 学部入学者選抜方法検討委員会

教授会
18日 学部教務委員会
学部将来構想検討委員会
19日 学部入学方法検討委員会
人事委員会
教授会
24日 学部施設整備委員会（持ち回り）
25日 学位記授与式及び祝賀会（富山観光ホテル）

教 育 学 部

3月4日 学部入学試験委員会
教授会
人事教授会
10日 附属養護学校卒業式
11日 研究科委員会小委員会
学部教務・学生生活合同委員会
研究科委員会
教授会
人事教授会
13日 教育実習委員会
附属幼稚園修了式
16日 学部予算委員会
17日 学部教務委員会
附属小学校卒業式
18日 学部紀要編集委員会
学部将来計画委員会
附属中学校卒業式
附属幼稚園修業式
19日 学部入学試験委員会
学部学生生活委員会
人事教授会
教授会
20日 附属小学校、附属中学校及び附属養護学校修業式
26日 学部就職指導委員会

経 済 学 部

3月2日 独立大学院博士課程設置に伴う合同打合せ会
3日 学部入学方法検討委員会
4日 学部教務委員会
人事教授会
教授会
10日 学部教務委員会
13日 研究科委員会

理 学 部

3月2日 理学部案内編纂委員会
理工学研究科設置準備委員会理学部会
排水安全委員会
4日 教授会
人事教授会
7日 教授会（臨時）
8日 排水安全委員会
10日 研究科委員会
教授会
研究科委員会専任教授会
13日 学部施設委員会
16日 予算委員会
年史編纂理学部委員会
学部学生生活委員会
17日 学部教務委員会
排水安全委員会
18日 排水安全委員会
学部入試改善委員会
19日 研究科委員会
教授会
人事教授会
教授会（臨時）
人事教授会（臨時）
20日 情報化対策委員会
排水安全委員会
24日 研究科委員会教務検討小委員会
31日 教官懇談会

工 学 部

3月2日 電子広報委員会
学部国際交流委員会
3日 合格者数検討委員会

4日 教授会
専任教授会

6日 教授会

研究科委員会
博士後期課程委員会

9日 電子広報委員会

10日 「工業（専門）高校卒業生を対象としたカリ
キュラム編成及び教育方法のための調査研究」
プロジェクト担当者会議

13日 日本塑性加工学会北陸支部講演会

17日 学部教務委員会

学生生活委員会
外国人留学生との懇談会

19日 合格者数検討委員会

入学試験検討委員会

教授会

専任教授会

研究科委員会

20日 理工学研究科設置準備委員会

26日 電子広報委員会

地域共同研究センター

3月20日 地域共同研究センター運営委員会

24日 地域共同研究センター運営委員会

生涯学習教育研究センター

3月9日 富山大学の生涯学習推進を図るための講演会
及び研究会

総合情報処理センター

3月10日 センター建物竣工記念式典・祝賀会

16日 第5回企画運営専門委員会

資

料

平成10年3月卒業生数

○ 学 部

学部 学科(課程)		入学年度							合 計	
		8	7	6	5	4	3	2		
人文学部	人文学科			66(3)	7	3		3	79(3)	
	国際文化学科			41(3)	9				50(3)	
	言語文化学科			68	4				72	
	語学文学科					1	1		2	
	計			175(6)	20	4	1	3	203(6)	
教育学部	小学校教員養成課程			94	1				95	
	中学校教員養成課程			47	4				51	
	養護学校教員養成課程			17	1				18	
	幼稚園教員養成課程			25					25	
	情報教育課程			38(1)	1				39(1)	
	計			221(1)	7				228(1)	
経済学部	昼間主コース	経済学科			130(1)	10	3	1		144(1)
		経営学科			114(8)	4(1)	1		1	120(9)
		経営法学科			87	11	3	1	1	103
		計			331(9)	25(1)	7	2	2	367(10)
	夜間主コース	経済学科			17	2			1	20
		経営学科			15					15
		経営法学科			18	1				19
		計			50	3			1	54
	計			381(9)	28(1)	7	2	3	421(10)	
理学部	数学科			39	9	6		1	55	
	物理学科			28	5	1	1	1	36	
	化学科			28		5			33	
	生物学科			33	3	1			37	
	地球科学科			24	7	4		1	36	
	生物圏環境科学科			20	7				27	
	計			172	31	17	1	3	224	
工学部	電子情報工学科	21(2)		94(3)	11	6	2	1	135(5)	
	機械システム工学科	12		70(4)	25(2)	7	2		116(6)	
	物質工学科	6		53(1)	7	4	3	1	74(1)	
	化学生物工学科	4	1	56	10	6	1		78	
	計	43(2)	1	273(8)	53(2)	23	8	2	403(12)	
合 計	43(2)	1	1,222(24)	139(3)	51	12	11	1,479(29)		

(注) 1. ()内は、外国人留学生で内数。

2. 平成7, 8年度入学卒業生は、高等専門学校からの編入学。

平成10年 3月修了者数

○ 大 学 院

研究科	専 攻	入学年度					合 計	
		9	8	7	6	4		
人文科学研究科	日本・東洋文化専攻		12 (1)				12 (1)	
	西洋文化専攻		1		2		3	
	計		13 (1)		2		15 (1)	
教育学研究科	学校教育専攻		8				8	
	教科教育専攻		17	1			18	
	計		25	1			26	
経済学研究科	地域・経済政策専攻		9 (5)			1	10 (5)	
	企業経営専攻		7 (4)				7 (4)	
	計		16 (9)			1	17 (9)	
理学研究科	数 学 専 攻		9				9	
	物 理 学 専 攻		19 (1)				19 (1)	
	化 学 専 攻		21				21	
	生 物 学 専 攻		12				12	
	地 球 科 学 専 攻		5				5	
	計		66 (1)				66 (1)	
工学研究科	前 期	電子情報工学専攻	1	53 (3)				54 (3)
		機械システム工学専攻		32 (2)				32 (2)
		物質工学専攻		33 (1)				33 (1)
		化学生物工学専攻		23	1			24
		計	1	141 (6)	1			143 (6)
	後 期	システム生産工学専攻			2 (1)	1 (1)		3 (2)
		物質生産工学専攻			5 (2)	1		6 (2)
		計			7 (3)	2 (1)		9 (4)
	計	1	141 (6)	8 (3)	2 (1)		152 (10)	
	合 計		1	261 (17)	9 (3)	4 (1)	1	276 (21)

(注) 1. ()内は、外国人留学生で内数。

2. 平成9年度入学修了者1名は、大学院学則第21条第1項ただし書き適用。

平成9年度大学院研究科修了者一覽

〔人文科学研究科（修士課程）〕

専攻	氏名	論文題目
日本・東洋文化 (12人)	稲石純子	凹線文系土器の受容にみる土器生産の諸相
	上嶋春美	「歯車」の構造分析 -<僕>と書き手の意識をめぐって-
	大岸里美	古代親王制の研究
	尾下成敏	織田信長の「御内書」について
	尾谷昌則	構文の拡張とその動機付けに関する認知論的研究 -日本語の主要部内在型関係節について-
	河合忍	弥生~古墳移行期における土器様式の2つの画期 -日本列島中央部における土器の計量的分析と分布のあり方からみた土器様式の動態-
	近藤美紀	中世社会における墓地の展開 -都市・地域間の比較研究-
	下浜綾	「現代社会における『葬送儀礼』の変容」 -富山市水橋地域の事例を通じて-
	田尻幸代	『源氏物語』の研究 -正篇における自然描写と物語展開の連関をめぐって-
	野田容子	『源氏物語』の研究 -薫の道心とその深化について-
	渡辺さゆり	「宮内庁書陵部蔵文選巻第二院政期点」についての研究
西洋文化 (3人)	辻澤史明	On Conversational Implicature: Four Maxims
	古巢美輝	K. II. ポベドノスツェフ評伝 -19世紀ロシアのエリート教育と保守主義-
	荒井雅子	ストリゴリーニキ異端について -資料再検討の試み-

〔教育学研究科（修士課程）〕

専攻	専修	氏名	論文題目
学 校 教 育 (8人)	学 校 教 育	石浦美輝子	不登校女兒への訪問面接による援助過程の検討
		市森尚子	しつけと文化
		伊東啓一	現代社会における子どもの生活構造と遊びの傾向に関する一考察
		脊戸高志	カリキュラム評価に関する一考察 ~文部省研究開発学校を事例として~
		谷川幸久	内海俊行の身体障害者を題材にした道徳授業実践記録に関する研究
		水島直純	劣等感の変容過程についての一考察
		横田淳一	高校生の学業成績とMINI-124・主要5因子性格検査との関係
		横山洋子	ことばが生まれる背景についての研究 -ことばの視点からの保育場面の考察-

専攻	専修	氏 名	論 文 題 目
教 科 教 育 (18人)	国 語 教 育	磯 部 真 紀	小学校における漢字教育の研究
		小 原 清 美	中学校におけるコミュニケーション能力の育成
		向 出 麻 美	「作品研究」を生かした文学的教材の指導
	数 学 教 育	杉 山 陽 子	楕円曲線を用いた素因数分解について
		石 田 睦 美	定常ストークス問題の有限要素解析に関する一考察
	理 科 教 育	上 田 晃 嗣	身近な環境を調べる簡易な化学実験法の開発
		松 本 薫	共役ジアセチレン化合物の合成とその重合に関する研究
	美 術 教 育	中 谷 英 二	ジョージ・ナカシマの造形的特質とその合理性についての考察 実技・家具制作：木材を用いた造形表現
		横 山 丈 樹	井波美術協会設立の背景と草創期に活躍した作家たち 実技・彫刻：人体彫刻における内面的感情表現の探求
	保 健 体 育	中 村 一 成	児童の体育学習におけるモチベーションと中距離走の記録向上に関する研究
	技 術 教 育	石 井 成 郎	文章作成後にプランを作成・参照することが推敲結果に及ぼす効果
		城 戸 早 苗	マルチメディア時代の映像リテラシー育成方法に関する研究
		杉 本 圭 優	地域と連携した学校の情報化に関する研究
		出 村 秀 司	小・中学校でのコンピュータ活用の実践と教職員間のコンピュータの普及に関する研究
	家 政 教 育	岡 本 民 乃	ビタミンを題材としての食物教育についての一考察 －ビタミン全般についての調査とビタミンCの測定実験とから－
		高 田 涼 子	家庭科の食物教育における食品群の種類の検討 －小・中・高等学校における一貫性の見地から－
		中 橋 美 幸	脚部圧迫による人体生理と圧感覚に関する研究
		山 路 恵 子	大学生の食生活における問題点の検討 －食物の摂取状況と嗜好の調査より－

[経済学研究科 (修士課程)]

専 攻	氏 名	論 文 題 目
地 域 ・ 経 済 政 策 (10人)	竹 島 勢 都 子	ベヴァリッジ委員会報告への一考察
	北 村 浩 一	規制緩和、地方分権による地方経済活性化論
	小 西 博 幸	集落営農組織の生産費に関する一考察
	宮 田 剛 志	養豚法人経営ネットワークに関する実証的研究
	森 本 尚 子	水稲種子制度に関する一考察
	洪 明 順	恐慌と実質賃金率
	邵 運	中国の産業構造の変革における技術導入に関する研究

専 攻	氏 名	論 文 題 目
	頼 哲 勲	国際規格化機構 (ISO) におけるライフサイクルアセスメント (LCA) に関する一考察 - 日本及び台湾における自動車のLCIの試算 -
	刈 志 勇	食品工業郷鎮企業と農工関係に関する一考察
	凌 海	中国養老保険制度改革の考察
企 業 経 営 (7人)	佐 渡 龍 己	テロリズムに対する危機管理の必要性に関する研究 - ギルバート説, 武井説, ミトロフ/ピアソン説および在ペルー日本大使公邸占拠事件との対比を中心に -
	橋 本 陽 子	資金会計に関する研究 - キャッシュフロー計算書を中心として -
	松 倉 美智子	中小企業経営者の対従業員経営姿勢に関する一考察
	SOH THIAM GIAP	マレーシアの日系企業進出と資本調達状況について
	陳 志 峰	中国国有企業における統治システムの再構築
	陳 増 紅	中国証券市場の形成, 現状と課題
	雫 航	中国合弁企業法の研究

[理学研究科 (修士課程)]

専 攻	氏 名	論 文 題 目
数 学 (9人)	浅 野 祐 輔	2次多項式の複素力学系とそのコンピュータグラフィックス
	北 山 幸 子	付値環の研究
	高 田 宏 治	化学反応モデルにおける解の分岐現象
	田 中 純 子	Geometry on principal $Sp(1)$ -bundles
	中 谷 綾 子	アファイン鏡映群とその諸性質
	新 田 敏 文	代数関数体の種数
	森 久 修	鏡映群とその分類
	森 本 拓 也	1次元力学系とカオス
	田 原 学	リーマン多様体の接バンドル上の新しい構造
物 理 学 (19人)	石 橋 大 輔	CH_3OD 分子のレーザー・ラジオ波二重共鳴分光
	一 柳 泰 基	マイクロ波分光によるギ酸メチル分子の研究
	上 野 将 貴	$DiffS^1/S^1$ の曲率と共形量子異常
	大 滝 雄一郎	簡単な分子の遠赤外レーザー分光
	小 倉 卓	メチルアルコール分子のレーザー・マイクロ波二重共鳴分光
	尾 原 隆 正	ニュートリノ反応での物質と反物質の非対称性

専攻	氏名	論文題目
	笠井隆志	ニュートリノ物理における新しい相互作用の効果
	新帯聖文	マイクロ波分光によるメタノール分子 ($^{13}\text{CH}_3\text{OH}$) の研究
	杉浦晶規	波長可変レーザーによる分子イオンの赤外分光
	高木英外	単結晶 CeNi_2Sn_2 および単結晶 CeNi_2Al_3 の極低温諸物性
	寺山明哲	低速引き上げSi結晶中grown-in微小欠陥の熱処理挙動…放射光トポグラフィ観察…
	中村誠	ゲージ構造を持った高階微分系の正準形式
	野上幸子	GaAs結晶中のX線トポグラフに見られた転位像の白黒コントラスト
	長谷川真史	点状の磁場を持つ非可換ゲージ場配位
	細川薫	ニュートリノ振動におけるCP対称性の破れ
	松原修吾	非可換ゲージ場理論のループ変数について
	山岸剛木	メタノール分子 (CH_3OD) のマイクロ波分光
	山本伸一	液体As-Te混合系のホール係数
	孫振東	波長可変レーザーによるメチルアルコール分子の高分解能分光学
化学 (21人)	上田哲志	固体内トリチウム計測法の開発に関する研究
	小川巧	紫外線誘起酸化法による炭素第一壁材のトリチウム除染に関する研究
	小島直人	非イオン界面活性剤のイオン対抽出/吸光光度定量に関する研究
	柿沼篤志	膜捕集による水中の微量チオカーバメート系農薬の定量に関する研究
	嘉指博之	固相抽出における溶媒の添加効果に関する研究
	久野靖浩	周波数応答法による金属触媒の特性
	黒崎聖英	フロピリジン誘導体の合成と反応性
	竹内亮	メタロポルフィリン三量体の合成と性質
	長岡孝	4価バナジウム錯体の合成と性質
	西田和也	5価ペルオキシバナジウム錯体の合成と反応性
	根建雅裕	新規なクロメン骨格を有するMycochromenic Acidの全合成研究
	人見高正	メタンの二酸化炭素改質触媒に関する研究
	福田陽子	Pd触媒を用いる立体選択的な環化反応の開発と天然物合成への応用
	松井直人	3価バナジウム錯体の構造と性質
	水上憲三	水素電池素材の性能改善に関する研究

専 攻	氏 名	論 文 題 目
	三 田 真 哉	修飾担持ニッケル触媒によるアセト酢酸メチルのエナンチオ面区別水素化に関する研究
	三 村 由 幸	プロバンのアンモ酸化触媒に関する研究
	宮 本 和 寿	Heck反応を用いたビタミンD ₃ 類等の合成研究
	本 橋 英 一	水素吸蔵合金によるメタン分解特性に関する研究
	森 作 員 子	光透過膜を用いる陽イオン界面活性剤の濃縮/定量に関する研究
	渡 邊 史 子	KDP familyの振動スペクトルと相転移
生 物 学 (12人)	飯 沼 知 子	シダ植物胞子の光発芽制御機構の解析
	上 原 千 春	日本産オトシブミ科(鞘翅目)の揺籃形成の寄主植物選好性
	内 田 克 哉	ラットにおける黒色素胞刺激ホルモンの発熱抑制作用 -インターロイキン-1 β とプロスタグランジンE ₂ の関与-
	倉 橋 章 太郎	サイクリックヌクレオチド誘導体によるゾウリムシ繊毛打制御機構の解析
	酒 井 紀 美 栄	バラ科シモツケソウ属の系統学的研究
	竹 内 剛	ウシガエルにおける心房性ナトリウム利尿ペプチドの生理的ならびに薬理的作用
	西 川 暁	マツバラ(シダ植物)の葉緑体ゲノムの全構造の解析
	林 敏 之	冬眠性哺乳類の精巣におけるゴナドトロピン受容体の解析
	水 見 栄 成	日本産ギシギシ属ギシギシ亜属の細胞分類学的研究
	藤 田 泰 輔	ゼンマイ胞子葉緑体における24-KDa蛋白の性質
	宮 地 加 織	日本産カワトンボ属(均翅亜目, カワトンボ科)の繁殖行動
	大 和 幸 博	ウニ卵受精時の細胞内情報伝達の研究
地 球 科 学 (5人)	作 田 修 平	中部日本北部の泥炭湿原における軽質炭化水素の挙動
	野 徹 雄	海底地震観測による富山トラフ南部付近の微小地震活動
	廣 瀬 一 聖	関東, 東海地方における非地震性すべりとプレート間カップリング
	古 戸 昌 子	酸性雲中にできる雪結晶
	米 澤 要	岩石磁気学からみた落雷現象

[工学研究科 (博士前期課程)]

専 攻	氏 名	論 文 題 目
電 子 情 報 工 学 (54人)	秋 山 敏 行	論理回路の簡単化とグラフィック表示プログラムの研究
	浅 野 崇	Si(001)基板上のMBE成長Si _{1-x} Ge _x 混晶層の表面ラフネスに関する研究

専 攻	氏 名	論 文 題 目
	安 達 賢 治	結合5本線路形方向性結合器の解析
	阿 閉 誠	Si(001)基板上的InSb薄膜のヘテロエピタキシャル成長
	伊 串 彰 洋	仮想空間内での運動モデルの構成
	石 田 義 久	Javaを用いたシーケンス制御用言語のグラフィックエディタの設計と開発
	石 渡 高 士	反強誘電性液晶セルにおける分極反転電荷量と中間調制御に関する研究
	岩 住 圭 一	碍子表面の霧および水滴の電気特性に関する研究
	上 田 聡 昭	広帯域分配回路の特性解析 —Balun—を有する場合
	上 野 威 史	伝送線路型平面トランスの解析
	魚 谷 勝	有限要素法とスプライン平滑化法の併用による磁性材特性の推定
	上 見 裕 幸	ラミネート法による有機電界発光素子の電気光学的特性に関する研究
	浦 崎 実	単相交流磁気誘導浮揚形回転システムに関する研究
	江 田 政 功	Generation of Langmuir Waves from Alfvén Waves by the Plasma Maser in Pair Plasmas
	扇 谷 宗 典	英語学習支援システムにおける自然言語解析による質問自動作成方式の研究
	太 田 聡	日本語手書き署名の検証方法に関する研究
	大 西 貴 根	音節HMMによる連続音声認識に関する研究
	尾 崎 利 宏	コンピュータグラフィックスにおけるラジオシティ法に関する研究
	笠 島 崇	SrTiO ₃ (001)基板上でのMBE法によるBi系酸化物超伝導体薄膜の作製
	檜 尾 哲 久	懸垂碍子の耐電圧化・耐候性に関する基礎実験
	加 藤 秀 明	超低照度CCD画像の画質改善に関する研究
	経 塚 正 宏	Si(001)基板上的AlSbをバッファ層としたInSb薄膜のヘテロエピタキシャル成長
	神 田 明 典	2色配色における色彩感性空間の構築
	岸 武 史	雷雲からの降雪・降雨の電荷量多地点観測と電荷量出現時間の解析
	北 村 聡 幸	2次元画像からの3次元物体形状の再構成
	倉 谷 和 之	高精度オプティカルフローの生成に関する研究
	小 坂 清 人	ハイブリッド型無限要素を用いた電磁界解析
	腰 原 健	強誘電性液晶配向セルにおける極性界面—液晶分子相互作用と分子配向に関する研究
	黒 田 庄 一	電源電圧値が異なる三相ダイオード整流回路の高調波計算に関する研究
	齊 藤 誠	数式画像の解析と再構成に関する研究

専 攻	氏 名	論 文 題 目
	坂 井 規 裕	結合6本線路の伝送理論及び変成器の解析への応用
	阪 本 猛	多足走行ロボットのシーケンス制御
	佐々木 一 徳	ウェーブレットによる色彩画像圧縮に関する研究
	白 鳥 和賀子	Electron Acceleration from Electron-ion Plasma Cloud moving across a Magnetic Field
	竹 内 啓 晴	poly-p-phenylene誘導体のLB膜の構造とその光学的特性
	寺 下 俊 章	自己整合有機電界発光素子の作製プロセスに関する研究
	長 瀬 哲 夫	ウェーブレットによる音声解析の有効性の検討
	長 森 克 彦	ラット弓状核ニューロン活動に対するレプチン及びNPYの作用
	西 村 充	冬季雷の音響的研究
	橋 本 卓 明	結合8本線路型方向性結合器の解析
	林 太 代	MBE成長SiGeヘテロ接合量子井戸構造の形成とその2次元電子の電気的特性
	細 川 秀 一	有限要素はりモデルによるマスクパターンの熱変形解析
	前 田 一 生	Si (001) 基板上でのSrOバッファ層を用いたSrTiO ₃ 薄膜のMBE成長とその誘電特性
	松 井 孝 宏	期待正解率を用いた二段階識別器の効率的設計に関する研究
	松 下 靖 征	カラー文書画像の領域分割に関する研究
	松 田 正 樹	雷雲のシミュレーション実験
	三 品 文 彦	時系列予測のためのニューラルネットワーク構成に関する研究
	南 隆 夫	変成比1:2及び1:-2の結合3本線路形変成器の解析
	山 口 一太郎	レーザー光を用いた組織血流量計測に関する基礎的検討
	脇 大 悟	デジタルフィルタによる生体信号雑音除去に関する研究
	LIM KIAN KIM	GaAs (111) A基板及びDiamond薄膜とGaSの界面形成に関する研究
	刈 紅 杰	アンバランス状態の三相サイリスタ整流回路の高調波計算に関する研究
	MUHAMMAD YUSUF EFENDI	Estimate of WindSpeed Distribution Considering Topography by Using FEM
	梶 村 好 宏	Generation of magnetic fields and fast particles during collision of plasma clouds
機 械 シ ス テ ム 工 学 (32人)	足 立 晃 一	超硬合金の微小疲労き裂進展に及ぼす応力比並びに温度の影響
	石 津 稔 之	ワイヤ放電加工の仕上加工のシミュレーション
	上 野 道 雄	高速応答油圧比例弁におけるスプール位置の精密制御の研究
	加 藤 俊 和	実験モーダル解析によるアルミ異形構造材のねじり剛性評価

専 攻	氏 名	論 文 題 目
	金 谷 圭 悟	長期間使用耐熱鋼の高温低サイクル疲労強度特性およびクリープ余寿命評価技術の確立に関する研究
	萱 野 敬 洋	TiCNサーメットと鋳鉄との摺動摩耗特性
	河 合 保	ワイヤ放電加工の加工精度に関する研究
	栗 原 晋 典	油圧駆動四足歩行機械の試作とその特性
	小 林 敏 昭	自励オンオフ駆動制御される微小精密加工機の加工動作
	小 林 寛	繰返し加熱冷却による回転ロール表面き裂の疲労進展特性
	柴 田 豊 広	非定常熱線法による磁性流体の熱伝導率に関する研究
	澁 井 将 興	ループ型複合だ円振動子によるフレキシブルフィーダの研究
	島 田 洋 一	熱プラズマの熱流動特性の計測と数値解析による考察
	菅 原 一	高強度2024Al-Fe-Ni系粉末合金の高速超塑性加工
	多 賀 隆 介	大型加熱面の噴霧冷却に関する研究
	田 中 孝 寛	ジルコニアセラミックスのクリープフィード研削による仕上げ面性状と残留応力に関する研究
	田 中 尚 樹	焼結高速度鋼の疲労強度特性に及ぼす複合表面改質の影響
	中 嶋 誠 世	自己拡散に関する分子動力学的研究
	中 山 豊	伝熱促進体周りの固・液相変化に伴う自然対流及び伝熱過程に関する解析的研究
	野 村 幸 司	硬脆材料の繰返し熱衝撃下のき裂進展特性と熱衝撃シミュレーション
	廣 島 山 治	H [∞] 制御理論を用いた微小衝撃加工機械の動作制御
	藤 本 毅	高温顕熱蓄熱装置の伝熱特性に関する基礎研究
	牧 野 勝 彦	被覆層の評価に関する基礎的研究
	丸 山 弘 晃	ピレット拡大押し出し法におけるメタルフロー挙動
	水 島 直 大	Ti-6Al-4V合金の高温低サイクル疲労に及ぼす微視組織および負荷ひずみ波形の影響
	宮 本 玲	電極反応による対流熱伝達アナログに関する研究
	茂 島 博 司	複合表面改質処理を施した高硬度鋼SKD61の腐食疲労強度特性
	山 崎 俊 和	6063合金押し出し材の表面性状に及ぼすピレット熱処理条件の影響
	山 本 哲 也	TVスペckル干渉法による面内変形の測定
	吉 田 博 一	転がりすべり接触によるトライボロジー損傷生成機構の解析
	周 勉	摩擦熱を伴う転がり接触による表面下内部平面き裂の疲労進展特性
	董 天 荣	管群型潜熱蓄熱槽の凝固・融解特性に関する研究

専攻	氏名	論文題目
物質工学 (33人)	大杉豊	乱流促進体を用いた伝熱促進の $K-\epsilon$ モデルによる数値解析
	太田亜紀	AFMによるFe-W合金析出に関する研究
	北村一郎	C/WおよびC/Mo共存系における固体物理化学
	北村康幸	H_2SO_4 -NaCl水溶液中におけるSUS304鋼の応力腐食割れ環境中の溶解挙動
	喜多克仁	2層系二重拡散対流における層間物質移動機構
	鬼頭秀明	金属間化合物電極の電気化学的性質の解明に関する基礎的研究
	木下勝弘	断熱鋳型鋳造法により作製したアルミニウム合金の引張特性
	小島隆弘	TiO_2 の光触媒反応を利用した鉱業廃液処理 —セレン酸及び亜セレン酸イオンの還元回収—
	坂本綾	1, 1-ポリメチレン-1H-アズレニウムイオンの合成
	桜谷賢	Fe-36%Ni合金の粒界選択酸化に及ぼす引張応力の影響
	篠田佳和	粉粒体のtapping充填特性に及ぼす粒子形状の影響
	渋谷知昌	Sn, InおよびGaによるAl材の耐食性の劣化特性の解明に関する研究
	清水直樹	微細粒子群の湿式形状分離装置の開発と分離特性に関する基礎的研究
	高橋桂	液中造粒における平衡造粒粒子径の検討
	田中巖	ねじり戻し加工による棒状アルミニウムの原形回復現象とマイクロ組織
	鶴来谷禅	$Zr_2(Co_{1-x}Ni_x)$ および $(Zr_{2-x}Hf_x)_2Co$ の超伝導
	戸田秀和	Incoloy 909系耐熱合金の時効に伴う γ 相, ϵ 相および η 相の析出
	中川剛	懸濁液滴の固体面への付着に及ぼす界面物性の影響
	西井聡司	カタナセン(仮称)を指向したフェナントロリン誘導体の合成研究
	西村嘉明	$Li_{1-x}Ti_{2-x}O_4$ および $GdBa_2(Cu_{1-x}M_x)_3O_{7-y}$ ($M=Fe,Zn$)の超伝導
	早川敦史	半凝固および半熔融加工法によるアルミニウム合金の組織制御
	林博雅	アルミニウムに富むAl-Ti系合金粉末の通電パルス焼結と焼結体の性質
	平野守通	Al-Li系合金T3材の二段時効硬化
	星英司	アルカリ性シアン浴からの金-銀合金めっきに関する研究
	堀口英将	共役系構築を指向した新規アセチレン化合物の合成研究
	梶善三	トリシクロ[5.3.1.0]ウンデカン骨格の転位及び環解裂反応
	前田知子	過飽和溶液中での結晶成長に伴う二重拡散対流の数値解析
	向陽一	筐体内自然空冷システムの熱設計に関する研究

専 攻	氏 名	論 文 題 目
	森 貞 貴 秀	デンプンの重水素化に関する研究
	八 木 雅 彦	砂層の乾燥における各種溶媒の乾燥特性推算法
	柳 田 理 治	ボレピン骨格を有するホウ素カチオン錯体の合成研究
	吉 田 勲 生	修飾電極による α -アセトアミド桂皮酸の不斉水素化
	左 勝 利	架橋アヌレノアヌレン類の合成の試み
化学生物工学 (24人)	相 澤 重 信	外部循環式エアリフトリアクターの液循環特性
	和 泉 清 明	Pd錯体触媒を用いた重縮合反応による新規ポリアミン及びポリホスフィンの合成
	井 出 誠	Vibrational Spectroscopic Study on the Structure of Water in Aqueous Polymer Systems
	今 康 敏 貴	新規主鎖型高分子色素の合成とその物性
	加 藤 裕 史	ヒト14番染色体32領域のゲノム解析と疾患関連遺伝子の探索
	坂 野 達 章	ジアルデヒドとジアミンの還元重縮合によるポリアミンの合成
	高 井 徳 康	ビーズミル細胞破碎における酵素の放出過程
	高 岡 政 史	ポリアクリル酸ナトリウムゲルによる金属イオンの吸着特性
	高 松 雅 志	Kenics静止型混合器による低粘度油中水滴型エマルジョン生成とその乳化特性
	田 坂 哲 也	バクテリアによる9-フルオレノール、9-フルオレノン類の酸化と還元
	田 中 英 夫	線形粘弾性理論に基づく米粒内の乾燥応力の解析
	伴 野 学 史	スルフェン酸上の置換反応に対する速度論的研究および中間体モデル化合物の合成
	中 坪 裕 子	植物の組織培養時における電界効果
	中 西 敦	Studies on the Syntheses of Substituted Thianthrene Derivatives and the Effect of the Substituents toward Several Reactions on the Sulfur Atom.
	永 野 良 純	Schizosaccharomyces pombe の形質転換に対する高効率な酢酸リチウム法の開発
	長 屋 隆 志	高分子電解質ゲルの解離平衡およびタンパク質吸着特性
	永 谷 幸 善	白色腐朽菌 <i>Coriolus versicolor</i> によるポリクロロフェノール類の生分解に関する研究
	野 田 徹	核酸の統計的性質と p53 を例にとったその制御機構
	浜 多 広 輝	チアザインを用いた新規イミノスルホニウム塩類の化学
	平 野 富 也	α -アミラーゼ阻害剤 Tendamistat の阻害部位を含む環状ペプチドの合成と構造活性相関
	尾 藤 貴 郎	二酸化チタン光触媒反応を用いた含金属-EDTA 錯体廃液の処理
	船 藤 達 夫	シアナミド類のHPLCを用いた分離・定量に関する分析化学的研究
	村 田 智 也	荷電表面近傍における同符号荷電微粒子の濃縮現象に関する研究

専攻	氏名	論文題目
	渡辺誠克	The promoter/repressor system of Lactobacillus phage ϕ gle

[工学研究科 (博士後期課程)]

専攻	氏名	論文題目
システム生産工学 (3人)	蛭川 繁	スペクトル解析を用いたセルオートマトンの振舞いに関する研究
	陳 東	ピンフィン付縦型伝熱面による水の凝固・融解に関する研究
	李 英丹	広帯域平衡・不平衡変成器の分布定数回路理論的解析
物質生産工学 (6人)	大窪 栄範	Syntheses and Reactivities of Some Specific SN Compounds-an N-Nitrosulfilimine and S-Alkoxy- and S-Sulfiliminothiazynes-
	谷畑 弘之	Al-Mg-Si系合金における鉄系金属間化合物に関する研究
	藤城 敏史	銀-銅系導電塗料のマイグレーションに関する研究
	森 雅之	Si (001) 面上でのGeバッファ層を介したInSb薄膜のヘテロエピタキシャル成長に関する研究
	蔡 奎千	Development and Application of Gas and Odor Sensor Systems
	李 冬梅	Si (001) 面上でのInSb薄膜の成長に関する研究

編 集	富山大学庶務部庶務課 富山市五福3190
印刷所	あけぼの企画株式会社 富山市住吉町1丁目5-18 電話 (24) 1755(代)